

平成 27 年版
消防年報



甘木・朝倉消防本部

表紙写真

棚田親水公園

宝珠山川の水を引き込んだ河川プールは、幼児用や小学生用などに分かれています。「こいのぼりプール」と呼ばれる河川プールは棚田の高低差を利用してプールとプールが滑り台で繋いであり、子供たちに大人気。シャワー室や更衣室、トイレも完備しており安心です。また、5月下旬～6月中旬には、幻想的なホタルの乱舞を見ることができます。広場やレストランもあり、夏だけでなく一年中楽しめます。

—はしがき—

この年報は、甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防の現勢と平成27年中における消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

本書は、平成28年4月1日を基準に作成し、警防編の統計は暦年、その他については会計年度で表し、一部当該表に記載する年月日により編集しています。

平成28年 7月

甘木・朝倉消防本部

平成28年度全国統一防火標語

消しましよう

その火その時

その場所で

INDEX

総括編

管内の概要	1
圏域の紹介	2
管内図と庁舎の現況	4
消防の歴代管理者	6
消防本部、消防署の組織	8
消防本部、消防署の事務分掌	9
消防相互応援協定の状況	11
消防本部の沿革	12

総務編

職員の配置状況	22
職員の任用状況	22
職員数の推移	22
職員の勤続年数調	23
職員の年齢調	24
職員の教養実施状況	25
職員の資格保有状況	26
当初予算額	27

予防編

建築確認同意事務処理の状況	28
防火対象物の状況	29
中高層建築物の現況(5階以上)	31
各種届出事務処理の状況	32
危険物施設の状況	33
危険物施設の査察実施状況	33
危険物規制事務処理の状況	34
危険物手数料徴収の状況	34
甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会	35
甘木・朝倉防災協会	36
筑後地区消防設備士会朝倉部会	36
外郭団体の活動	37

警防編

車両の配置状況	38
消防水利の状況	38
消防機材の配置状況	39
火災の概要	40
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	41
原因別の出火件数	43
火災件数10年の推移	43
救急の概要	44
市町村別の救急状況	45
月別、時間別の出場件数	46
年齢別、程度別、月別の搬送状況	47
程度別の搬送状況	48
救急出場件数10年の推移	48
応急手当の普及啓発活動状況	49
救命スタッフのいる事業所認定制度	49
救助の概要	50
月別、市町村別の出動件数	50
事故種別、発生場所別の出動件数	51
事故種別比較表	51
事故種別、出動人員、活動人員	52
救助出動件数10年の推移	52
通信指令系統図	53
119番着信状況	54
医療機関案内状況	54
消防団編	
消防団員数	55
車両台数	55
年齢別団員数	56
在職年数別団員数	56

総 括 編

管内の概要	1
圏域の紹介	2 ~ 3
管内図と庁舎の現況	4 ~ 5
消防の歴代管理者	6 ~ 7
消防本部、消防署の組織	8
消防本部、消防署の事務分掌	9 ~ 11
消防相互応援協定の状況	11
消防本部の沿革	12 ~ 21

甘木・朝倉消防本部の基本方針

めざそう 住民の安全 そして安心

重点施策事項

- 1 住民のニーズに応える防災情報の提供
- 2 住民のための消防行政サービスの徹底
- 3 事務の簡素化・効率化と活力ある職場作りの推進
- 4 自己意識の改革（態度・服装・笑顔・傾聴）と実行
- 5 報告・連絡・相談・的確な指示の徹底
- 6 体力・身心の強化と健康の保持増進
- 7 安全管理で明るく楽しい快適な職場環境の維持

職員綱領

- 1 吾等消防職員は職責を自覚し、規律の保持につとめよう。
- 2 吾等消防職員は身心の鍛錬に励み、知識技術の向上をはかろう。
- 3 吾等消防職員は和合の精神をもって団結し、親しまれる消防人になろう。

（甘木・朝倉消防職員綱領全文より抜粋）

事故防止一斉唱和

- 1 安全呼称の徹底
- 2 左右確認・最徐行の徹底
- 3 赤信号・一旦停止の徹底
- 4 車両誘導は確実に
- 5 優先通行権を過信しない

管内の概要

● 位置

福岡県の中央部、福岡市の南東約40km、久留米市の北東約20kmの場所に、組合消防を構成する中核の朝倉市が位置し、東に東峰村、西に筑前町の3市町村、管内人口8万6千8百5人からなる。

● 地勢

管内を北西から南東へと貫く最重要幹線道路である国道386号線から南側は盆地となっているが、同道路から北側、すなわち市域北部から北東部～東部にかけて古処山をはじめとする600～900m級の山々が連なる。この山地の中に福岡市など周辺地区への水資源供給の役割を担う寺内ダム・江川ダムがある。更に小石原川ダム（仮称）が建設中である。

また、圏域の南側には、境界にほぼ沿う形で筑後川が流れている。

● 観光

全国疏水百選にも選定されている朝倉市の「堀川用水」は、江戸時代に当時の最新技術で築造されました。筑後川から取水する山田井堰、人力で掘られた堀川、水田を潤す水車群などからなり、築造から2世紀を経た現在も朝倉地域の農業を支え、自然と調和した美しい水景をかもし出しています。

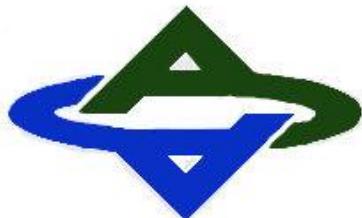
特に堀川用水のはじまりである山田井堰は、舟通し・魚道・砂利吐きを持つ日本唯一の傾斜堰床式石張堰として歴史的にも貴重なものです。その優れた工法は、アフガン復興支援の灌漑用水モデルとして活用されています。

平成26年に山田井堰・堀川用水・水車群は、世界かんがい施設遺産に登録されました。



甘木・朝倉広域市町村圏事務組合

- 人口 86,805人
- 世帯数 32,510世帯
- 面積 365.78 Km²



甘木・朝倉圏域は、福岡県のほぼ中央部に位置し、朝倉市・筑前町・東峰村の3市町村で構成されている地域です。地域の形状は東西に長く、西に小都市や筑紫野市、東に大分県日田市、北に嘉麻市、南にうきは市と接しています。

朝 倉 市

- 人口 54,995人
- 世帯数 21,035世帯
- 面積 246.71 Km²



菱野の三連水車

筑後川北岸に広がる朝倉市は、三連水車などでも知られるのどかな田園都市。その豊かな自然は、博多方能ネギ、柿や梨といったフルーツ、全国でも希少な淡水ノリ「スイゼンジノリ」などの特産品を生み出してくれます。また、筑前の小京都と称される城下町「秋月」や、夏の風物詩「鵜飼い」が有名な原鶴温泉など、来訪者を魅了する多彩な観光資源も魅力の一つです。

東峰村

●人 口 2,284 人

●世帯数 890 世帯

●面 積 51.97 Km²



伝統工芸品の小石原焼

東峰村は、歴史と文化と自然が調和した緑豊かな村です。経済産業大臣指定伝統的工芸品の一つである「小石原焼」や「森の巨人たち百選」に選ばれた「行者杉」、「日本の棚田百選」に選ばれた竹地区の美しい棚田、「平成の名水百選」に選ばれた「岩屋湧水」があり、観光資源の宝庫となっています。

6月上旬には、山里の溪流で蛍が飛び交い、夏真っ盛りの7月～8月には親水公園河川プールや岩屋キャンプ場、ポン太の森キャンプ場で子どもたちや家族連れの歓声が絶えません。また、祭りも4月に「岩屋まつり」、5月と10月には「小石原焼 民陶むら祭」、6月に「ほたる祭」、山々が色付く秋には「秋まつり」が開催されます。

筑前町

●人 口 29,526 人

●世帯数 10,585 世帯

●面 積 67.10 Km²



筑前町ファーマーズマーケット みなみの里

米・麦・大豆の生産を中心とした、田園風景広がる筑前町。「都会から近い田舎」が魅力のまちです。「食に感謝し、平和を願うまち」を町のテーマに、2011年には「ちくぜん食の都づくり宣言」を行い、食に関する取り組みを推進。ファーマーズマーケットみなみの里には、連日多くの人が地元の食材を買いに訪れます。また、かつての大刀洗飛行場跡地に町立大刀洗平和記念館を建設。平和の大切さを後世に語り継いでいきます。

管内図と庁舎の現況

西部分署



所在地 朝倉郡筑前町下高場3599番地3
敷地面積 1,989.32m²
構造 鉄筋コンクリート造2階建
延面積 720.87m²
管轄区域 筑前町



甘木・朝倉消防本部 甘木・朝倉消防署



所在地 朝倉市一木18番地20
敷地面積 7,054.86m²
構造 鉄筋コンクリート造3階建
延面積 2,798.00m²
管轄区域 朝倉市・朝倉郡一円

東出張所



所 在 地 朝倉郡東峰村大字小石原鼓 837 番地 11
敷 地 面 積 1,659.80 m²
構 造 鋼筋コンクリート造鋼板葺 2階建
延 面 積 576.73 m²
管 轄 区 域 東峰村

東部分署



所 在 地 朝倉市杷木寒水 92 番地 1
敷 地 面 積 1,567.55 m²
構 造 鋼筋コンクリート造 2階建
延 面 積 464.12 m²
管 轄 区 域 朝倉市杷木地域

朝倉出張所



所 在 地 朝倉市宮野 2142 番地 2
敷 地 面 積 1,833.00 m²
構 造 鋼筋コンクリート造 2階建
延 面 積 380.18 m²
管 轄 区 域 朝倉市朝倉地域

消防の歴代管理者

甘木市消防本部（昭和40年3月1日～昭和51年9月30日）

市長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備考
初代	塚本倉人	昭和40年3月1日	昭和47年11月17日	7年9月	
二代	富田英一	昭和47年11月18日	昭和51年5月21日	3年7月	
三代	塚本倉人	昭和51年6月20日	昭和51年9月30日	4月	

消防長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備考
初代	塚本倉人	昭和40年3月1日	昭和42年12月21日	2年10月	事務取扱
二代	高橋清美	昭和42年12月22日	昭和49年6月10日	6年6月	
三代	山崎房美	昭和49年6月11日	昭和51年9月30日	2年4月	

消防署長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備考
初代	高橋清美	昭和40年3月5日	昭和48年11月30日	8年9月	
二代	山崎房美	昭和48年12月1日	昭和51年9月30日	1年10月	

甘木・朝倉消防本部（昭和51年10月1日～現在）

理事長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備考
初代	塚本倉人	昭和51年10月1日	昭和63年6月19日	11年9月	甘木市長
二代	友納昭智	昭和63年6月20日	平成3年3月28日	2年9月	甘木市長
三代	中島茂嗣	平成3年5月7日	平成8年5月15日	5年0月	甘木市長
四代	佐藤誠良	平成8年7月14日	平成12年7月13日	4年0月	甘木市長
五代	塚本勝人	平成12年7月19日	平成18年3月19日	5年8月	甘木市長
六代	森田俊介	平成18年5月2日	平成22年4月22日	3年11月	朝倉市長
		平成22年4月23日	在職中		朝倉市長

副理事長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備考
初代	藤原重実	昭和51年10月1日	昭和54年4月30日	2年7月	朝倉町長
二代	林一二三	昭和54年5月14日	昭和62年4月9日	7年11月	杷木町長
三代	徳田善友	昭和62年5月7日	平成元年7月23日	2年3月	夜須町長
四代	藤井金與	平成元年8月3日	平成3年4月30日	1年9月	朝倉町長
五代	稻永勝己	平成3年5月7日	平成7年4月30日	3年11月	三輪町長
六代	熊谷昭巳	平成7年5月12日	平成11年4月30日	3年11月	杷木町長
七代	手柴豊次	平成11年5月12日	平成17年3月21日	5年10月	三輪町長
八代	田頭喜久己	平成17年5月19日	平成21年4月23日	3年11月	筑前町長
		平成21年5月20日	在職中		筑前町長

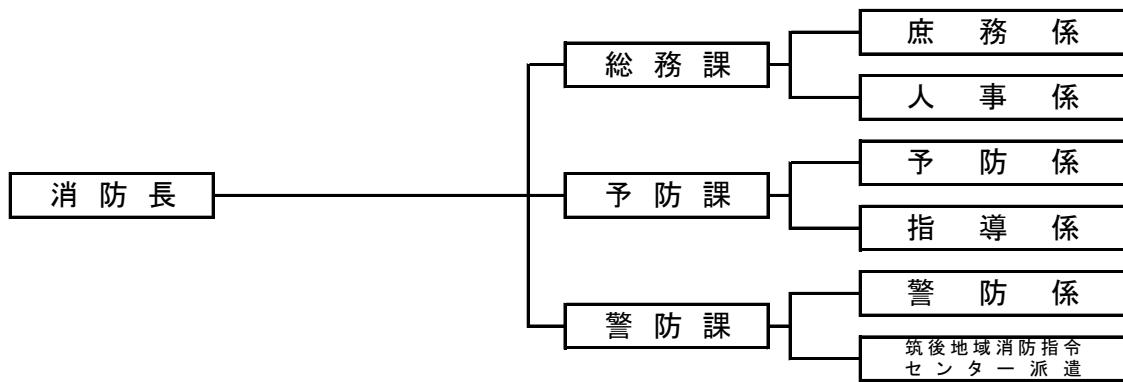
消防長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間
初代	山崎房美	昭和51年10月1日	昭和53年3月31日	1年6月
二代	白石公海	昭和53年4月1日	昭和57年2月28日	3年11月
三代	山田昌實	昭和57年3月1日	昭和63年3月31日	6年1月
四代	空閑道雄	昭和63年4月1日	平成4年3月31日	4年0月
五代	立石新	平成4年4月1日	平成8年3月31日	4年0月
六代	西岡隆士	平成8年4月1日	平成11年2月10日	2年11月
七代	川藤市郎	平成11年2月11日	平成15年3月31日	4年1月
八代	金子義郎	平成15年4月1日	平成19年3月31日	4年0月
九代	舟木潤一	平成19年4月1日	平成22年3月31日	3年0月
十代	和佐野一文	平成22年4月1日	平成23年3月31日	1年0月
十一代	竹井隆	平成23年4月1日	平成25年3月31日	2年0月
十二代	池田伸一	平成25年4月1日	平成27年3月31日	2年0月
十三代	大楠喜彦	平成27年4月1日	在職中	

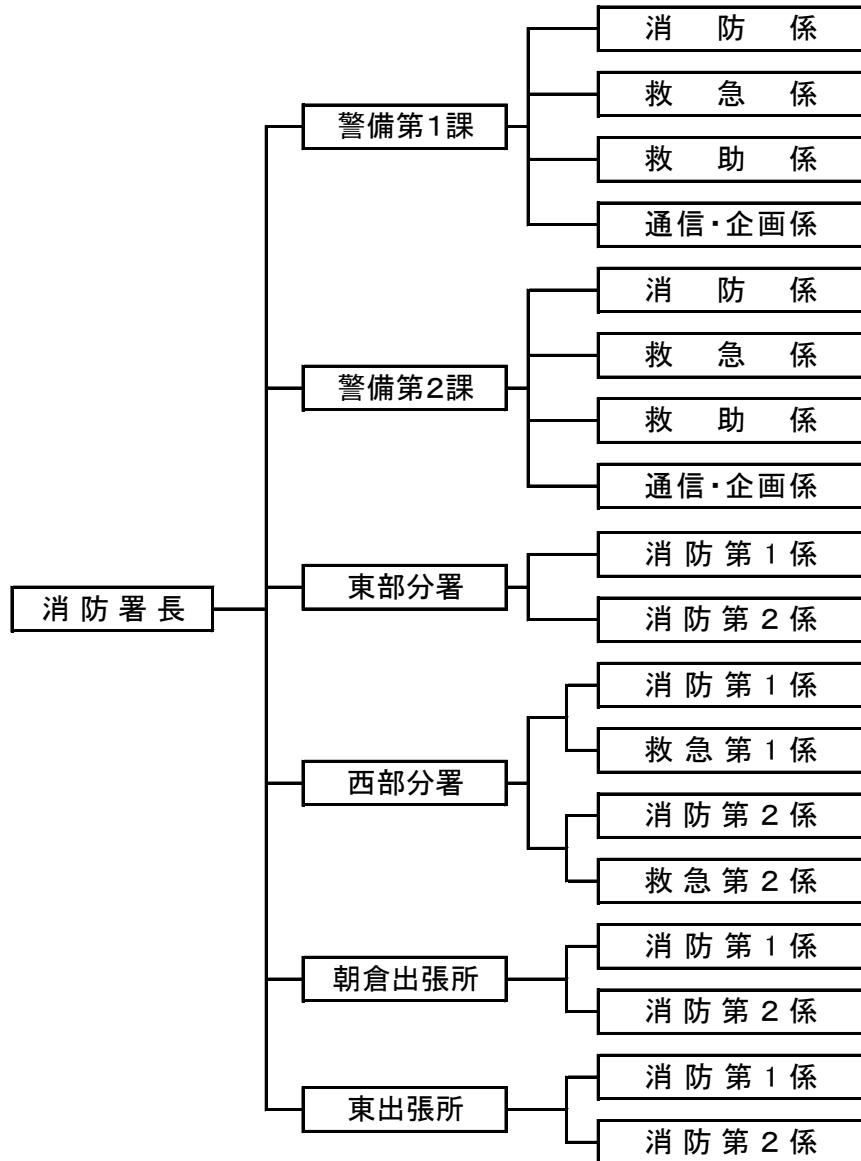
消防署長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	在任期間
初代	山崎房美	昭和51年10月1日	昭和52年10月31日	1年1月
二代	山田昌實	昭和52年11月1日	昭和55年3月31日	2年5月
三代	空閑道雄	昭和55年4月1日	平成元年3月31日	9年0月
四代	立石新	平成元年4月1日	平成4年3月31日	3年0月
五代	川島勝治	平成4年4月1日	平成8年10月31日	4年6月
六代	川藤市郎	平成8年11月1日	平成10年3月31日	1年5月
七代	立野紀幸	平成10年4月1日	平成12年3月31日	2年0月
八代	金子義郎	平成12年4月1日	平成13年3月31日	1年0月
九代	立野紀幸	平成13年4月1日	平成14年3月31日	1年0月
十代	金子義郎	平成14年4月1日	平成15年3月31日	1年0月
十一代	林武好	平成15年4月1日	平成19年3月31日	4年0月
十二代	大場豊	平成19年4月1日	平成20年3月31日	1年0月
十三代	野村良和	平成20年4月1日	平成22年3月31日	2年0月
十四代	小島誠	平成22年4月1日	平成23年3月31日	1年0月
十五代	大熊勝徑	平成23年4月1日	平成25年3月31日	2年0月
十六代	田中俊次	平成25年4月1日	平成26年3月31日	1年0月
十七代	橋本良二	平成26年4月1日	平成27年3月31日	1年0月
十八代	羽野勉	平成27年4月1日	在職中	

消防本部の組織



消防署の組織



消防本部、消防署の事務分掌

消防本部

総務課

庶務係

- (1) 例規及び令達に関すること。
- (2) 文書の審査及び収受・発送に関すること。
- (3) 予算に関すること。
- (4) 物品の出納保管に関すること。
- (5) 契約に関すること。
- (6) 財産に関すること。
- (7) 公印に関すること。
- (8) 消防施設に関すること。
- (9) 車両等の燃料の管理に関すること。
- (10) 消防事務の総合企画及び調整に関すること。
- (11) 庁舎に関すること。
- (12) 課の庶務に関すること。
- (13) その他各課、係に属しないこと。

人事係

- (1) 職員の任免、服務、分限及び懲戒その他身分に関すること。
- (2) ほう賞及び表彰に関すること。
- (3) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (4) 職員の教養、監察に関すること。
- (5) 職員の公務災害及び賞じゅつに関すること。
- (6) 渉外に関すること。
- (7) 職員の給与品及び貸与品に関すること。
- (8) 消防職員委員会に関すること。

予防課

予防係

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 危険物の規制に関すること。
- (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- (4) 液化石油ガス販売事業許可の意見書交付に関すること。
- (5) 危険物取扱者に関すること。
- (6) 防災協会に関すること。
- (7) その他危険物等の火災予防に関すること。

指導係

- (1) 建築物の同意事務に関すること。
- (2) 防火対象物の消防用設備等に関すること。
- (3) 防火管理者に関すること。
- (4) 旅館、ホテル等の通知書の交付に関すること。
- (5) 防火思想の普及宣伝の計画及び実施に関すること。

- (6) 火災の調査に関すること。
- (7) 幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び婦人防火クラブの育成指導に関すること。
- (8) 自衛消防隊等の育成指導に関すること。
- (9) 消防設備士会に関すること。
- (10) 予防統計及び広報に関すること。
- (11) その他火災予防に関すること。

警防課

警防係

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 警防業務の運営及び管理に関すること。
- (3) 救急救命士養成に関すること。
- (4) 救急業務高度化に関すること。
- (5) 筑後地域消防通信指令業務に関すること。
- (6) 消防の応援協定に関すること。
- (7) その他警防に関すること。

消防署

警備第1課・警備第2課

消防係

- (1) 課の庶務に関すること。
- (2) 職員の服務規律に関すること。
- (3) 職員の配置に関すること。
- (4) 職員及び消防団員等の訓練指導に関すること。
- (5) 職員の給与品及び貸与品の管理に関すること。
- (6) 広報に関すること。
- (7) 庁舎及び備品等の維持管理に関すること。
- (8) 少量危険物及び指定可燃物の規制事務の指導に関すること。
- (9) 火災等の原因及び損害の調査に関すること。
- (10) 防火対象物の消防用設備等の指導に関すること。
- (11) 予防查察に関すること。
- (12) 火災予防の実施及び指導に関すること。
- (13) 諸証明及び各種届出に関すること。
- (14) その他警備に関すること。

救急係

- (1) 救急統計に関すること。
- (2) 救急機械器具施設の運用及び整備保全に関すること。
- (3) 救急に関すること。

救助係

- (1) 救助統計に関すること。
- (2) 潜水に関すること。
- (3) 消防機械器具施設の運用及び整備保全に関すること。
- (4) 水・火災、その他災害の予防警戒及び防ぎよに関すること。

- (5) 救助の技術研究及び訓練計画に関すること。
- (6) 消防対象物の調査指導に関すること。
- (7) 消防特別警戒に関すること。
- (8) 地理水利に関すること。
- (9) 救助に関すること。
- (10) 危険物規制事務の指導に関すること。

通信・企画係

- (1) 消防統計及び消防情報に関すること。
- (2) 気象に関すること。
- (3) 火災警報に関すること。
- (4) 非常招集に関すること。
- (5) 通信・指揮運用に関すること。
- (6) 警防事務の調査研究及び企画立案に関すること。
- (7) 消防機械器具施設の企画整備及び管理に関すること。
- (8) 消防機械器具等の改良考案に関すること。
- (9) 警防計画及び訓練に関すること。
- (10) その他通信・企画に関すること。

分署・出張所

- (1) 警備第1・2課、消防係、救急係、救助係、通信・企画係に同じ。

協定名	協定市町村	締結年月日	協定の内容
高速自動車道における消防相互応援協定	福岡県下16消防本部	昭和61年10月15日	火災・事故発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する
福岡県消防相互応援協定	福岡県内の全市町村全消防本部	平成元年3月25日	県内において大規模な災害が発生した場合に広域応援体制を確立することにより、災害による被害を最小限に防止する
隣接常備消防相互応援協定	日田玖珠広域行政事務組合	平成2年2月26日	火災・地震等の災害発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する
消防相互応援協定	田川地区消防組合	平成5年6月1日	火災・地震等の災害発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する
消防相互応援協定	飯塚地区消防組合	平成6年12月1日	火災・地震等の災害発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する
常備消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合	平成21年4月1日	火災・地震等の災害発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する
常備消防相互応援協定	筑紫野太宰府消防組合	平成21年4月1日	火災・地震等の災害発生時に相互の消防力を活用し被害を最小限に防止する

消防本部の沿革

年 次		主 な で き ご と
昭和40年	3月	○甘木市消防本部（署）創設、市長が消防長事務取扱 ○甘木市消防本部（署）発足 ○職員20名採用
	4月	○幹部職員5名採用 ○仮庁舎にて業務開始
	10月	○水そう付消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕購入 ○救急業務任意実施
昭和41年	1月	○消防庁舎完成移転
	9月	○財団法人日本船舶振興会、財団法人日本消防協会、甘木ライオンズクラブ出資により 救急自動車の寄贈を受ける
	11月	○消防専用無線（中短波）基地局1局、移動局1局開局
昭和42年	1月	○甘木市危険物安全協会発足
	3月	○消防庁長官表彰旗を受賞 ○筑後地区消防設備士会甘木部会発足
	10月	○社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車〔BD—I型〕の寄贈を受ける
	12月	○消防専用無線（中短波）移動局1局増設
昭和43年	4月	○救急業務開始（指定実施）
	11月	○職員4名採用 職員29名となる
昭和44年	3月	○職員1名退職
	4月	○職員1名採用
	8月	○消防長を専任とし、消防署長兼務とする
昭和45年	5月	○有線放送マイクサイレン設置
昭和46年	4月	○職員7名採用 職員36名となる
	6月	○甘木市危険物安全協会を甘木・朝倉危険物安全協会に改名 ○甘木市少年消防クラブ結成発足
	10月	○三輪町の救急業務を受託
	12月	○朝倉町の救急業務を受託
昭和47年	3月	○社団法人日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受ける
	5月	○事務職員1名採用 職員37名となる
昭和48年	1月	○甘木ロータリークラブより救急自動車の寄贈を受ける
	6月	○職員7名採用 職員44名となる
	11月	○職員2名採用 職員46名となる
	12月	○消防長の署長兼務を解き、消防長・署長の専任制をとる ○朝倉町の救急業務を受託
昭和49年	1月	○消防専用無線（超短波）基地局1局、移動局5局開局

年 次		主 な で き ご と
昭和49年	3月	○甘木市少年消防クラブ、県知事表彰を受賞
	6月	○職員1名退職（他消防本部へ転出）職員45名となる
	7月	○夜須町の救急業務を受託 ○職員1名退職（他消防本部へ転出）職員44名となる
昭和50年	1月	○甘木・朝倉危険物安全協会より防火広報車の寄贈を受ける（予防課配置）
	3月	○化学消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕購入（本署配置）
	4月	○甘木市少年消防クラブ、全国少年消防クラブ運営指導協議会より表彰旗受賞 ○職員2名採用 職員46名となる ○開庁10周年記念式典開催
昭和51年	3月	○甘木市少年消防クラブ、日本防火協会表彰を受ける
	4月	○福岡県消防学校へ教官として1名派遣（1年間）
	10月	○甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防発足
昭和52年	12月	○社団法人日本損害保険協会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける (西部分署配置)
	1月	○職員12名採用 職員58名となる
	3月	○水そう付消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕2台購入（東部・西部分署配置） ○消防救急指令装置導入
昭和53年	4月	○東部分署開庁（仮庁舎） ○職員17名採用 職員75名となる
	8月	○福岡県消防学校へ教官として1名派遣（2年間） ○東部分署新庁舎へ移転 ○テレオートガイド装置によるテレホンサービス開始
	10月	○潜水救助隊実働開始
	11月	○社団法人日本損害保険協会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける (朝倉出張所配置) ○通信専従員任命
	12月	○西部分署開庁
	3月	○職員1名退職 職員74名となる
	4月	○職員1名採用 職員75名となる
	6月	○職員8名採用 職員83名となる ○水そう付消防ポンプ自動車〔I-A型〕購入（朝倉出張所配置）
	7月	○朝倉出張所開庁 ○司令車2台購入（東部分署・西部分署配置）
	8月	○水そう付消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕購入（本署配置）

年 次		主 な で き ご と
昭和53年	10月	○職員1名退職、5名採用 職員87名となる
	12月	○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(本署配置)
昭和54年	2月	○社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車〔BD—I型〕の寄贈を受ける (本署配置)
	3月	○消防用無線中継局開局
	4月	○人員輸送車購入(総務課配置)
	6月	○甘木ライオンズクラブよりレサシアン1体寄贈を受ける
	10月	○甘木・朝倉危険物安全協会より査察車の寄贈を受ける(予防課配置) ○辻婦人防火クラブ(昭和46年4月4日発足)の事務局を消防本部に移管
	11月	○甘木朝倉少年婦人防火委員会発足
昭和55年	5月	○職員1名退職 職員86名となる
	6月	○資材運搬車〔2tトラック〕購入(本署配置)
	9月	○救命ゴムボート購入
	11月	○財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受ける(予防課配置)
昭和56年	2月	○辻婦人防火クラブ、財団法人日本消防協会より小型動力ポンプの寄贈を受ける
	3月	○消防本部(署) 庁舎建設用地購入
	7月	○甘木市少年消防クラブ、全国少年消防クラブ運営指導協議会より優良表彰を受ける
	11月	○消防本部広報誌「こちら119」創刊号発行(年2回発行とする)
		○三奈木婦人防火クラブ発足
昭和57年	2月	○職員2名退職 職員84名となる
	3月	○職員1名退職(福岡県消防学校へ転出) 職員83名となる
	4月	○消防本部(署) 新庁舎完成移転
	8月	○無線によるサイレン制ぎよ開始
	9月	○事務連絡車購入(総務課配置)
		○司令車購入(本署配置)
昭和58年	4月	○職員8名採用 職員91名となる
昭和59年	2月	○三奈木婦人防火クラブ、財団法人日本消防協会より昭和58年度定例表彰を受ける
	6月	○職員1名退職 職員90名となる
	9月	○高压ガス製造施設完成
	12月	○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける (東部分署配置)

年 次		主 な で き ご と
昭和60年	1月	○水そう付消防ポンプ自動車〔II型〕購入(本署配置)
	4月	○開庁20周年記念式典開催 ○消防本部「20年のあゆみ」発行
昭和61年	2月	○はしご付消防ポンプ自動車〔15m級〕購入(本署配置)
	3月	○甘木ライオンズクラブより救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(西部分署配置)
	4月	○庁用車購入(総務課配置)
昭和62年	2月	○大分自動車道一部開通(鳥栖～朝倉)に伴う救急業務開始
	5月	○社団法人日本自動車工業会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(本署配置)
	11月	○建設省九州地方建設局主催の筑後川水防演習が実施される(朝倉町大字古毛)
昭和63年	3月	○救助工作車購入(本署配置) ○職員1名退職 職員89名となる
		○甘木市少年消防クラブ、全国少年消防クラブ運営指導協議会より優良少年消防クラブ表彰を受ける
	4月	○職員3名採用 職員91名となる
	11月	○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(朝倉出張所配置)
平成2年	3月	○大分自動車道一部開通(朝倉～日田)に伴う救急業務開始
	4月	○社団法人日本自動車工業会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(本署配置)
	8月	○職員4名採用 職員95名となる
	9月	○職員1名理事長事務部局に出向 実員94名となる ○社団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車〔CD-I型〕の寄贈を受ける(本署配置)
平成3年	4月	○職員6名採用 職員100名となる
	5月	○甘木・朝倉危険物安全協会より予防指導車の寄贈を受ける(予防課配置)
	6月	○筑後地区消防設備士会甘木部会より視聴覚資材〔オートスライドプロゼクター〕の寄贈を受ける(予防課配置)
	12月	○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける(西部分署配置)
平成4年	2月	○水そう付消防ポンプ自動車〔II型〕購入(西部分署配置)
	3月	○職員1名退職 職員99名となる ○空中散布資器材(バケット他)購入
	4月	○大規模山林災害総合訓練実施(甘木市大字菩提寺)
	5月	○全国植樹祭に伴う警備実施(夜須町大字櫛木)

年 次		主 な で き ご と
平成4年	6月	○職員1名退職 職員98名となる
	7月	○甘木・朝倉危険物安全協会、平成4年度消防関係安全功労者消防庁長官表彰を受ける
	10月	○完全週休二日制を実施
平成5年	2月	○水そう付消防ポンプ自動車〔Ⅱ型〕購入（東部分署配置）
	4月	○職員3名採用 職員101名となる ○幼年消防クラブ（40団体）発足
	6月	○甘木朝倉少年婦人防火委員会、名称を変更し甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会となる ○甘木土木事務所主催の筑後川水防演習が実施される（朝倉町大字田中）
	7月	○甘木・朝倉危険物安全協会、名称を変更し甘木・朝倉防災協会となる
	9月	○甘木・朝倉危険物安全協会、平成5年度安全功労者内閣総理大臣表彰を受ける
	11月	○大規模山林災害総合訓練実施（杷木町大字志波） ○甘木・朝倉防災協会より、内閣総理大臣表彰に伴う記念事業として防火広報車の寄贈を受ける（予防課配置） ○緊急通報システム（あさくらあんしんライン）実動開始 ○消防緊急通信指令施設〔Ⅱ型〕導入に向けて通信指令室を増築
	12月	
平成6年	2月	○水そう付消防ポンプ自動車〔I-A型〕購入（朝倉出張所配置）
	4月	○職員1名理事長事務部局に出向 実員100名となる
	9月	○職員15名採用 職員115名となる
	10月	○司令車2台購入（東部分署、西部分署配置） ○大規模山林災害総合訓練実施（夜須町大字三箇山）
	12月	○消防本部（署）庁舎改修工事完成
平成7年	2月	○職員1名退職 職員114名となる
	3月	○司令車購入（東出張所配置） ○消防緊急通信指令施設〔Ⅱ型〕実動開始 ○阪神・淡路大震災に伴う応援出動（タンク車1台） ○甘木・朝倉消防署東出張所落成 ○水そう付消防ポンプ自動車〔I-A型〕購入（東出張所配置） ○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕の寄贈を受ける（東出張所配置） ○事務連絡車1台購入（総務課配置） ○職員1名退職 職員113名となる
	4月	○東出張所開庁

年 次		主 な で き ご と
平成7年	4月	○職員2名採用 職員115名となる
	8月	○人員輸送車〔29人乗り〕購入（総務課配置）
	10月	○開庁30周年記念式典開催 ○消防本部「30年のあゆみ」発行
平成8年	3月	○化学消防ポンプ自動車〔I型〕購入（本署配置） ○救急自動車〔2B型〕購入（東部分署配置）
	4月	○職員1名退職 職員114名となる
	11月	○職員1名採用 職員115名となる ○高圧空気ガス製造施設設置
平成9年	3月	○消防ポンプ自動車〔CD-I型〕購入（本署配置） ○水そう付消防ポンプ自動車〔II型〕購入（本署配置） ○救急自動車〔2B型〕購入（本署配置） ○甘木市少年消防クラブ、全国少年消防クラブ運営指導協議会より優良表彰を受ける
	4月	○職員1名採用 職員116名となる
	6月	○職員1名退職 職員115名となる ○福岡県救急医療情報システムのパソコン設置
	8月	○甘木土木事務所主催の筑後川水防演習が実施される（朝倉町大字田中） ○司令車購入（本署配置）
	10月	○司令車購入（朝倉出張所配置）
	11月	○集団救急事故訓練実施（甘木鉄道）
	1月	○福岡県共済農業協同組合連合会より救急自動車〔2B型〕寄贈を受ける (朝倉出張所配置)
平成10年	3月	○職員1名退職 職員114名となる
	4月	○職員1名採用 職員115名となる
平成11年	1月	○障害者用緊急通報ファクシミリ電話運用開始
	2月	○職員1名退職 職員114名となる
	3月	○高規格救急自動車購入（本署配置）
	4月	○職員2名退職 職員112名となる ○救急伝送受信装置締結（久留米大学病院・高度救命救急センター） ○高規格救急自動車運用開始、救急救命士実働開始
	10月	○筑後地区消防設備士会甘木部会より一体型液晶ビデオ映写機の寄贈を受ける (予防課配置)
	1月	○甘木ライオンズクラブよりレサシアン3体の寄贈を受ける
平成12年	2月	○財団法人日本消防協会よりリトル・アン20体の寄贈を受ける
平成13年	1月	

年 次		主 な で き ご と
平成13年	2月	○財団法人日本消防協会より防火広報車の寄贈を受ける(本署配置)
	3月	○高規格救急自動車購入(西部分署配置)
	4月	○甘木ライオンズクラブより防災用資材運搬自動車の寄贈を受ける(本署配置)
	4月	○職員1名退職 職員111名となる
	6月	○職員1名退職 職員110名となる
	6月	○職員2名採用 職員112名となる
平成14年	6月	○庁用車購入(総務課配置)
	11月	○はしご付消防自動車[30m級]購入(本署配置)
	1月	○社団法人日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける(本署配置)
	2月	○甘木・朝倉広域市町村圏事務組合消防委員会(委員15名)を設置する
	3月	○財団法人日本防火協会より防火広報用視聴覚資器材補助金の交付を受ける
	4月	○職員1名採用 職員113名となる
平成15年	5月	○福岡県・甘木朝倉地区合同総合防災訓練実施(甘木市大字長田)
	6月	○職員1名退職 職員112名となる
	3月	○消防総合OAシステム導入
	4月	○職員4名退職 職員108名となる
	5月	○職員4名採用 職員112名となる
	8月	○予防指導車購入(予防課配置)
平成16年	8月	○消防総合OAシステム第2次導入
	11月	○高規格救急自動車購入(東部分署配置)
	1月	○甘木・朝倉消防本部基本方針決定
平成16年	4月	○福岡県総務部消防防災安全課へ実務研修として1名派遣(1年間)
	6月	○福田婦人防火クラブ発足
平成17年	2月	○甘木ロータリークラブよりエアーテントの寄贈を受ける
	3月	○職員1名退職 職員111名となる
	4月	○職員2名採用 職員113名となる
	5月	○安川婦人防火クラブ発足
	5月	○開庁40周年記念式典開催
	9月	○甘木土木事務所主催の筑後川水防演習が実施される(朝倉町大字田中)
	9月	○蜷城婦人防火クラブ発足
	12月	○金川婦人防火クラブ発足
平成18年	12月	○甘木女性防火クラブ発足
	3月	○水そう付消防ポンプ自動車[Ⅱ型]購入(西部分署配置)
	3月	○高規格救急自動車購入(朝倉出張所配置)

年 次		主 な で き ご と
平成18年	3月	○職員1名退職 職員112名となる ○三奈木婦人防火クラブ(昭和56年11月発足)の事務局を公民館に移管 ○甘木市少年消防クラブを朝倉市少年消防クラブに改名 ○職員3名採用 職員115名となる ○朝倉市少年消防クラブ比良松中学校班、杷木中学校班設立 ○上秋月婦人防火クラブ発足
	4月	○筑後地区消防設備士会甘木部会を筑後地区消防設備士会朝倉部会に改名 ○高木女性防火クラブ発足
	5月	○指揮車購入(本署配置)
	7月	○秋月婦人防火クラブ発足
	10月	
	12月	
平成19年	1月	○水そう付消防ポンプ自動車[I 型]購入(東部分署配置)
	3月	○職員3名退職 職員112名となる ○朝倉市少年消防クラブ、県知事表彰を受賞 ○財団法人日本防火協会より防火防災訓練用資器材補助金の交付を受ける
	4月	○福岡県消防学校へ教官として職員1名派遣(2年間) ○職員3名採用 職員115名となる
	5月	○金川婦人防火クラブを金川女性防火クラブに改名
	6月	○防火広報車購入(予防課配置)
平成20年	2月	○高規格救急自動車購入(本署配置)
	3月	○職員2名退職 職員113名となる
	4月	○職員2名採用 職員115名となる
	9月	○筑後地区消防設備士会朝倉部会、創立40周年記念事業で高齢者世帯(250世帯)に住宅用火災警報器を設置
平成21年	2月	○高規格救急自動車購入(西部分署配置)
	3月	○職員3名退職 職員112名となる
	4月	○職員4名採用 職員116名となる
	8月	○IP携帯位置情報表示装置運用開始
	11月	○司令車購入(西部分署配置)
平成22年	2月	○水そう付消防ポンプ自動車[I 型]購入(朝倉出張所配置)
	3月	○はしご付消防自動車[30m級]オーバーホール ○職員5名退職 職員111名となる
	4月	○職員7名採用 職員118名となる
	8月	○司令車購入(東部分署配置)
	12月	○消防本部庁舎耐震診断実施

年 次		主 な で き ご と
平成23年	2月	○朝倉自家用自動車協会より高規格救急自動車の寄贈を受ける(本署配置) ○水そう付消防ポンプ自動車〔I型〕購入(本署配置)
	3月	○東日本大震災に伴う緊急消防援助隊(消火隊)派遣 ○職員6名退職 職員112名となる
	10月	○消防緊急通信指令システム改修工事
	12月	○消防本部庁舎耐震補強工事
平成24年	1月	○指揮車購入(本署配置)
	3月	○消防ポンプ自動車〔CD-1型〕購入(本署配置) ○東出張所庁舎耐震診断実施
	4月	○職員5名採用 職員117名となる ○筑後地域消防通信指令事務協議会設置(8消防本部)
	5月	○事務連絡車購入(総務課配置)
	9月	○職員1名退職 職員116名となる ○全国瞬時警報装置(J-ALERT)設置
	12月	○司令車購入(朝倉出張所配置)
平成25年	2月	○水そう付消防ポンプ自動車〔I型〕購入(東出張所配置)
	3月	○職員6名退職 職員110名となる
	4月	○職員8名採用 職員118名となる ○福岡県消防長会県央地区会から福岡県消防長会県南地区会へ所属地区変更 ○筑後地域消防通信指令事務協議会へ事務局員として職員1名派遣
	11月	○事務連絡車購入(本署配置)
平成26年	3月	○化学消防ポンプ自動車〔I型〕購入(本署配置) ○金川女性防火クラブ、県知事表彰を受賞
	4月	○職員5名退職 職員113名となる ○職員9名採用 職員122名となる ○西部分署庁舎耐震診断実施
	9月	○西部分署庁舎増改築設計
	10月	○はしご付消防自動車〔30m級〕オーバーホール
	11月	○甘木ロータリークラブより心肺蘇生訓練用人形5体、AEDトレーナー8台の寄贈を受ける
平成27年	3月	○高規格救急自動車購入(東部分署配置)
	4月	○職員9名退職 職員113名となる ○職員2名採用 職員115名となる ○再任用職員1名採用
	6月	○東部分署・朝倉出張所庁舎耐震診断実施

年 次		主 な で き ご と
平成27年	10月	<ul style="list-style-type: none"> ○開庁50周年記念式典開催 ○一般財団法人救急振興財団より心肺蘇生訓練生体人形(成人・乳児用)1体及びAEDトレーナー2器の寄贈を受ける
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ○筑後地域消防通信指令センター仮運用開始(職員4名派遣)
平成28年	1月	<ul style="list-style-type: none"> ○甘木・朝倉防災協会、福岡県知事より防火思想普及感謝状を受ける
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ○高規格救急自動車購入(朝倉出張所配置)
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ○消防ポンプ自動車〔CD-I型〕購入(西部分署配置) ○筑後地域消防通信指令センター開庁式開催 ○西部分署庁舎増改築工事完了及び完成披露式開催 ○職員1名退職 職員114名となる ○再任用職員1名退職
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ○職員6名採用 職員120名となる ○西部分署新体制運用開始 ○筑後地域消防通信指令センター運用開始

総務編

職員の配置状況	2 2
職員の任用状況	2 2
職員数の推移	2 2
職員の勤続年数調	2 3
職員の年齢調	2 4
職員の教養実施状況	2 5
職員の資格保有状況	2 6
当初予算額	2 7

職員の配置状況

所 属	階 級 職 名	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
		消 防 長	長 長	署 課	課 分 出 課 副 係 張 長 分 署 所 補 署	係	主 任 主 査 査	主 査	
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	総 務 課				2	1	2	1	6
	総 務 課 付						1		7
	予 防 課				2	1	3		6
	警 防 課				2			1	3
	筑後地域消防指令センター派遣				1	1	2		4
	小 計	1		7	3	8	2	6	27
消 防 署	消 防 署 長		1						1
	警 備 第 1 課			4	4	4	4	4	20
	警 備 第 2 課			4	4	5	2	5	20
	東 部 分 署			3		4		4	11
	西 部 分 署			3	4	4	4	6	21
	朝 倉 出 張 所			[1]	2	4	1	3	10
	東 出 张 所			[1]	2	4		4	10
	小 計		1	14	16	25	11	26	93
合 計		1	1	21	19	33	13	32	120

※〔 〕は兼務者数

職員の任用状況

項 目	階 級 職 職	消 防 监	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
退 職				1					1
採 用								6	6
昇 任				1	2		1		4
再 任 用									

※退職は平成27年度中 採用、昇任、再任用は平成28年4月1日付

職員数の推移

各年度4月1日

平 成 2 4 年 度	1	6	15	18	44	11	22		117
平 成 2 5 年 度	1	3	17	19	40	10	28		118
平 成 2 6 年 度	1	2	20	17	40	12	30		122
平 成 2 7 年 度	1	1	21	18	35(1)	12	27		115(1)
平 成 2 8 年 度	1	1	21	19	33	13	32		120

※()は再任用者数

職員の勤続年数調

階級 年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
40								
39	1	1	7	4				13
38				5				5
37				2	1			3
36								
35								
34								
33			6	1				7
32								
31								
30								
29								
28				3				3
27								
26				3				3
25				5	1			6
24								
23					3			3
22			1		14			15
21				1	1			2
20				1				1
19					1			1
18					1			1
17								
16								
15					1			1
14					2			2
13					4			4
12								
11					2			2
10					2	1		3
9					1	2		3
8						2		2
7						4		4
6						4	2	6
5								
4							5	5
3							8	8
2							9	9
1							2	2
1未満							6	6
合計	1	1	21	19	33	13	32	120
平均年数	39.0	39.0	36.0	29.2	18.4	7.4	2.4	18.1

※平均年数は経過年月数の値

職員の年齢調

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
59		1	2					3
58			2	1				3
57	1		5	3				9
56			8	1				9
55								
54			1					1
53				1				1
52								
51			2					2
50								
49				1				1
48								
47				1				1
46			1	2	1			4
45				1				1
44				4	4			8
43				4	2			6
42					5			5
41					6			6
40					3			3
39								
38								
37					2			2
36					3			3
35								
34					1			1
33					1			1
32					3			3
31					1	1		2
30						2		2
29					1	2		3
28						3	1	4
27						4	1	5
26						1	3	4
25							3	3
24							6	6
23							5	5
22							6	6
21							2	2
20							3	3
19							2	2
18								
合計	1	1	21	19	33	13	32	120
平均年齢	57.7	59.3	56.2	48.9	39.5	28.8	23.6	38.8

※平均年齢は経過年月数の値

職員の教養実施状況

教 養 項 目		平成27年度 人 員
福岡県消防学校	消防職員第130回初任教育	2
	消防職員幹部教育第8回初級幹部科(A)	1
	消防職員幹部教育第44回初級幹部科(B)	1
	消防職員専科教育第7回特殊災害科	1
	消防職員専科教育第15回危険物科	1
	消防職員専科教育第30回、第31回救急科	4
	消防職員特別教育第34回救助科	1
	消防職員特別教育第13回はしご自動車等教育	1
	消防職員特別教育第9回警防実務研修	2
	第1回、第2回救急救命士処置拡大講習	4
消防大学	消防大学校専科教育幹部科(第44期)	1
市町村研修所	法制執務基礎講習	1
	クレーム対応研修(組織対応編)	1
救急救命士養成研修等	救急救命士九州研修所第32期、第33期研修	2
	救急救命士就業前研修(聖マリア病院)	1
	救急救命士就業前研修(久留米大学救命センター)	1
	救急救命士就業中研修(朝倉医師会病院)	6
	救急救命士就業中研修(聖マリア病院)	3
	救急救命士就業中研修(久留米大学救命センター)	1
合 計		35

職員の資格保有状況

階 級		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
資 格									
職 員 数		1	1	21	19	33	13	32	120
自動車免許	大型一種			16	17	33	13	8	87
	大型二種			3	2				5
	中型一種	1	1					11	13
	普通一種			2				13	15
自動車整備士						1			1
救急救命士				4	7	11	2	2	26
応急手当指導員		1	1	21	19	33	13	24	112
衛生管理者				1					1
特殊無線技士		1	1	20	16	15	5	2	60
潜水士		1	1	9	8	11	7	3	40
水上安全法指導員				1					1
ガス溶接技能			1	8	6	7			22
ガス溶接主任者									
高圧ガス製造保安責任者			1	9	3				13
予防技術資格者				1	2	20	4	1	28
危険物取扱者		1	1	11	10	17	11	23	74
消防設備士				1	1				2
小型船舶				5	7	7	1	1	21
電気工事士					1	1			2
ボイラーティ技士			1						1
玉掛け技能資格			1	5	3	4		1	14
小型移動式クレーン				1	7	9			17

当初予算額

(単位:千円)

区分	款	目	平成28年度	平成27年度
歳入	分担金及び負担金	消防費負担金	1,213,172	1,264,187
	使用料及び手数料	消防手数料	500	600
	財産収入	物品売払収入	1	1
		財産貸付収入	180	180
	繰越金	繰越金	1	1
	諸収入	預金利子	1	1
		雑入	10,081	9,378
	地方債	消防債	36,200	288,400
	国庫支出金	消防費国庫補助金	0	0
合計			1,260,136	1,562,748
歳出	消防費	常備消防費	1,125,060	1,073,389
		消防施設費	56,527	352,524
		庁舎建設費	0	68,200
	公債費	一般元金	67,806	58,563
		特別元金	5,454	5,250
		一般利子	2,450	1,779
		特別利子	839	1,043
		予備費	2,000	2,000
	合計		1,260,136	1,562,748

予 防 編

建築確認同意事務処理の状況	2 8
防火対象物の状況	2 9 ~ 3 0
(防火対象物数・防火管理者該当事業所・査察実施状況)	
中高層建築物の現況(5階以上)	3 1
各種届出事務処理の状況	3 2
危険物施設の状況	3 3
危険物施設の査察実施状況	3 3
危険物規制事務処理の状況	3 4
危険物手数料徴収の状況	3 4
甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会	3 5 ~ 3 6
甘木・朝倉防災協会	3 6
筑後地区消防設備士会朝倉部会	3 6
外郭団体の活動	3 7

甘木・朝倉防火標語 最優秀作品

(甘木・朝倉管内中学校より募集)

- 平成 9年度 後はダメ その時その場で 火の始末
- 平成10年度 火のしまつ いつもみんなの 心がけ
- 平成11年度 つけた火は 自分のせきにん 最後まで
- 平成12年度 心がけ それは防火の 第1歩
- 平成13年度 便利さと 恐さをかねた 身近な火
- 平成14年度 みのがすな 小さな火でも 命とり
- 平成15年度 消したはず 消えたはずでも もう一度
- 平成16年度 届けよう 防火の心 あなたから
- 平成17年度 火の始末 消すまであなたが 責任者
- 平成18年度 やっている? 消火の確認 防火の基本
- 平成19年度 消すまでは つけたあなたが みはり役
- 平成20年度 火のしまつ 君がしなくて 誰がする
- 平成21年度 消したはず 何より怖い その言葉
- 平成22年度 火をつけた あなたはすでに 責任者
- 平成23年度 火は奪う あなたの未来と 思い出を
- 平成24年度 消す心 いつも忘れず 火の用心
- 平成25年度 消すまでは 君が炎の 見張りばん
- 平成26年度 火は奪う あなたの未来も 財産も
- 平成27年度 ONとOFF ちゃんと消したか 確認よしつ

建築確認同意事務処理の状況

防火対象物区分		市町村	朝倉市	東峰村	筑前町	合計
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場					
	ロ 公会堂、集会場		3			3
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等					
	ロ 遊技場、ダンスホール					
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ テレフォンクラブ、個室ビデオ					
3	イ 待合、料理店等					
	ロ 飲食店		3			3
4	百貨店、マーケット、物品販売店舗等、展示場		3		2	5
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等					
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅		1	1	2	4
6	イ 病院、診療所、助産所		1			1
	ロ 老人短期入所施設等		1		4	5
	ハ 老人デイサービスセンター等、保育所		2		2	4
	ニ 幼稚園、特別支援学校					
7	小、中、高等学校、大学、各種学校等		2			2
8	図書館、博物館、美術館等					
9	イ 公衆浴場のうち蒸気、熱気浴場等					
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場		1			1
10	車両の停車場、船舶若しくは航空機の発着場					
11	神社、寺院、教会等					
12	イ 工場、作業場		11	1	5	17
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫、駐車場				2	2
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14	倉庫		8		4	12
15	前各号に該当しない事業場		15		5	20
16	イ 特定複合用途防火対象物		2			2
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物		1		2	3
17	重要文化財等					
18	延長50メートル以上のアーケード					
小計		54	2	28	84	
一般住宅		34		19	53	
農業用倉庫		12		6	18	
合計		100	2	53	155	

防火対象物の状況

項 目 署 所 防火対象物区分	防 火 対 象 物 数					
	本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 张 所	東 出 张 所	合 計
1 イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場		1				1
1 ロ 公会堂、集会場	47	13	47	12	6	125
2 イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	1					1
2 ロ 遊技場、ダンスホール	5		5			10
2 ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
2 ニ テレフォンクラブ、個室ビデオ						
3 イ 待合、料理店等						
3 ロ 飲食店	38	9	15	7	5	74
4 百貨店、マーケット、物品販売店舗等、展示場	114	13	49	14	10	200
5 イ 旅館、ホテル、宿泊所等	14	23	5	1	2	45
5 ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	372	28	160	10	1	571
6 イ 病院、診療所、助産所	39	7	17	3	2	68
6 ロ 老人短期入所施設等	20	3	19	3	2	47
6 ハ 老人デイサービスセンター等、保育所	30	8	15	5	3	61
6 ニ 幼稚園、特別支援学校	4		5	2		11
7 小、中、高等学校、大学、各種学校等	57	21	27	9	2	116
8 図書館、博物館、美術館等	5		3		4	12
9 イ 公衆浴場のうち蒸気、熱気浴場等						
9 ロ イに掲げる以外の公衆浴場	1	3				4
10 車両の停車場、船舶若しくは航空機の発着場						
11 神社、寺院、教会等	50	13	21	11	2	97
12 イ 工場、作業場	307	68	199	72	34	680
12 ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ						
13 イ 自動車車庫、駐車場	30	6	21	7	2	66
13 ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14 倉庫	230	57	155	59	5	506
15 前各号に該当しない事業場	285	40	198	57	28	608
16 イ 特定複合用途防火対象物	95	21	37	15	13	181
16 ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物	71	7	32	14	2	126
17 重要文化財等	5	1	1	1	2	10
18 延長50メートル以上のアーケード	1					1
合 計	1,821	342	1,031	302	125	3,621

防火管理者該当事業所						查 察 實 施 狀 況								
本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 张 所	東 出 张 所	合 計	本 部	本 署	東 分 部 署	部 署	西 分 部 署	朝 倉 出 张 所	東 出 张 所	合 計	
	1				1				1					1
41	9	11	4	5	70			12	1	7	1	2	23	
1					1									
5		4			9		2			4			6	
33	5	9	4	4	55		5			1		2	8	
75	8	26	10	7	126	15	41	5	22	9	1	93		
8	15	2		2	27		5	11	5				21	
18	1	9	1		29		2			1			3	
14	2	6	1		23		13	1	8	1	2	25		
18	3	13	3	2	39		12	1	8	1	2	24		
22	7	17	3	3	52		15	7	6	2		30		
3		3	2		8						1		1	
16	6	5	3	1	31		3	2	5	9	1	20		
5		2		2	9		1			1			2	
1	3				4		4						4	
19	8	5	4	1	37		2	2					4	
26	3	12	7		48		56	7	31	2	1	97		
							4		9	1	1	15		
2		2	1		5		52	1	17	4	1	75		
35	6	10	3	2	56		40		25	1	2	68		
39	8	14	5	9	75		17		6	4	4	31		
8		4			12		3		3			6		
						10						10		
389	85	154	51	38	717	25	289	39	159	36	19	567		

中高層建築物の現況(5階以上)

防火対象物区分		階 数	防火対象物総数	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上	合 計
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	1									
	ロ 公会堂、集会場	125									
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	1									
	ロ 遊技場、ダンスホール	10									
3	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等										
	ニ テレフォンクラブ、個室ビデオ										
4	イ 待合、料理店等										
	ロ 飲食店	74	1								1
5	百貨店、マーケット、物品販売店舗等、展示場	200									
6	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	45	2	3		1		2	1	9	
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅	571	18	2	3	1	2	1	3	30	
7	イ 病院、診療所、助産所	68	4								4
	ロ 老人短期入所施設等	47	1								1
8	ハ 老人デイサービスセンター等、保育所	61		1							1
	二 幼稚園、特別支援学校	11									
9	小、中、高等学校、大学、各種学校等	116									
10	図書館、博物館、美術館等	12									
11	イ 公衆浴場のうち蒸気、熱気浴場等										
	ロ イに掲げる以外の公衆浴場	4									
12	10 車両の停車場、船舶若しくは航空機の発着場										
13	神社、寺院、教会等	97									
14	イ 工場、作業場	680		1							1
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ										
15	イ 自動車車庫、駐車場	66									
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫										
16	倉庫	506									
17	前各号に該当しない事業場	608	3								3
18	イ 特定複合用途防火対象物	181	2		1			3		6	
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物	126		1						1	
19	重要文化財等	10									
20	延長50メートル以上のアーケード	1									
合 計			3,621	31	8	4	2	2	6	4	57
市 町 村 別	朝 倉 市	2,465	28	6	3	1	2	5	1	46	
	東 峰 村	125									
	筑 前 町	1,031	3	2	1	1		1	3	11	

各種届出事務処理の状況

届出区分	署 所	本 部	本 署	東 分 部 署	西 分 部 署	朝 倉 出 张 所	東 出 张 所	合 計
防火管理 者選解任届		4	72	8	23	5	2	114
消防用設備等点検結果報告			470	78	142	40	22	752
防火対象物点検結果報告			43	4	16		2	65
消防計画作成(変更)届		5	78	10	28	6	4	131
液化石油ガス貯蔵取扱い届 圧縮アセチレンガス		10	9		8	2		29
消防用設備等設置届		123		10				133
消防用設備等着工届		47						47
防火対象物使用開始届		69	8					77
ボイラー設置届		1	4					5
発電・変電設備設置届		7	9	3	6			25
ネオン管灯設備設置届								
火災とまぎらわしい届			42	7	7		6	62
煙火打上げ届			10	2	4	2	2	20
道路工事届			152	6	24	9	8	199
少量危険物貯蔵取扱い届 指定可燃物		9	8		1	1		19
蓄電池設備設置届			8					8
炉設置届		5			1			6
露店等の開設届出書			17	3	3	1	2	26
合 計		280	930	131	263	66	48	1,718

危険物施設の状況

施設区分		製造所	貯蔵所							取扱所			合計	
			屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
単独	第1類													
	第2類		1							1				1
	第3類													
	第4類	1	36	47	3	57		34	29	206	79	1	54	134 341
	第5類												2	2 2
	第6類													
混在			1							1				1
合計		1	38	47	3	57		34	29	208	79	1	56	136 345
指定数区分	5倍以下	1	17	11	3	23		24		78	6	1	33	40 119
	5倍を超える~10倍以下		6	12		17		1	8	44	16		7	23 67
	10 ~ 50		7	17		13		1	21	59	31		11	42 101
	50 ~ 100		2	3		2		8		15	3		2	5 20
	100 ~ 150		4	2		1				7	5		2	7 14
	150 ~ 200										3			3 3
	200 ~ 1,000		2	2		1				5	15		1	16 21
	1,000倍を超えるもの													

危険物施設の査察実施状況

署所別	本署	1	26	23		28		13	28	118	41	1	31	73 192
	東部分署			1	1	11		1		14	5		2	7 21
	西部分署		5	18		12		12	1	48	18		17	35 83
	朝倉出張所		5	4	2	6		4		21	9		5	14 35
	東出張所			1				1		2	2			2 4
	合計	1	36	47	3	57		31	29	203	75	1	55	131 335

危険物規制事務処理の状況

施設区分	製造所	貯蔵所							取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
設置許可申請		2									2	4
変更許可申請			3		1				3		2	9
完成検査申請									1		1	2
変更完成検査申請			3		1				3		2	9
完成検査前検査申請											33	33
仮使用承認申請			2						2			4
譲渡引渡届												
種類数量変更届									5			5
廃止届			3		1		1		4		2	11
保安監督者選解任届	1	4	5		2				13		5	30
予防規程認可申請		1							7		4	12
設置者変更届 代表者変更届		11	14	2	5		3		10		20	65
工事届					2				12		4	18
休止届			2	1					4			7
合計	1	18	32	3	12		4		64		75	209

※ 完成検査前検査申請の数はタンク水張検査数を示す。

危険物手数料徴収の状況

(単位:千円)

設置許可		40									91	131
変更許可			20		13				78		53	164
設置完成									26			26
変更完成			15		7				39		26	87
水圧・水張											223	223
仮使用・仮貯蔵								11	11			22
合計	40	35	20		11	154			393		653	

※ タンクの水張検査手数料は一般取扱所に含む。仮貯蔵手数料は屋外貯蔵所とする。

甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会

地域における自主防火組織の指導育成機関として昭和54年に甘木朝倉少年婦人防火委員会が設立され、平成5年に幼年消防クラブの結成に伴い、甘木・朝倉幼少年婦人防火委員会としました。

幼年消防クラブの状況

市町村	クラブ数	ク ラ ブ 名 (クラブ員数)						合 計
朝倉市	23	秋月保育所 (22)	安川保育所 (29)	福田保育所 (45)	蜷城保育所 (52)			1,868
		黄金川保育所 (76)	三奈木保育所 (74)	立石保育園 (144)	真愛保育園 (225)			
		生い立つ保育園 (238)	馬田保育園 (134)	青梅保育園 (130)	甘木聖和幼稚園 (22)			
		甘木幼稚園 (214)	甘木双葉幼稚園 (61)	ひばりが丘学園 (6)	杷木保育所 (57)			
		志和保育所 (23)	久喜宮保育所 (42)	どれみ保育園 (45)	松末保育所 (16)			
		ひろにわ保育所 (105)	大福幼稚園 (49)	宮野幼稚園 (59)				
東峰村	2	小石原保育園 (16)	美星保育所 (39)					55
筑前町	8	美和みどり保育所 (123)	みなみ幼稚園 (206)	大念寺中央幼稚園 (35)	篠隈保育所 (148)			866
		なづな保育園 (143)	中津屋幼稚園 (55)	城北幼稚園 (42)	白梅保育園 (114)			
合 計	33							2,789

少年消防クラブの状況

学年 学校	3 年		2 年		1 年		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	
十文字中学校	2	2	2	2	2	2	6	6	12
南陵中学校	2	3	3	3	2	2	7	8	15
秋月中学校	4	2	1	2	1	1	6	5	11
甘木中学校	6	6	5	5	6	6	17	17	34
杷木中学校	3	2	1	1			4	3	7
比良松中学校	5	6		1			5	7	12
合 計	22	21	12	14	11	11	45	46	91

婦人防火クラブの状況

区分 クラブ名	設立期日	事務局	クラブ員数
三奈木婦人防火クラブ	昭和56年11月	三奈木コミュニティセンター	31
福田婦人防火クラブ	平成16年 6月	福田コミュニティセンター	14
安川婦人防火クラブ	平成17年 4月	安川コミュニティセンター	30
蜷城婦人防火クラブ	平成17年 9月	蜷城コミュニティセンター	17
金川女性防火クラブ	平成17年12月	金川コミュニティセンター	39
上秋月婦人防火クラブ	平成18年 4月	上秋月コミュニティセンター	10
高木女性防火クラブ	平成18年 7月	高木コミュニティセンター	15
秋月婦人防火クラブ	平成18年12月	秋月コミュニティセンター	29
合 計			185

甘木・朝倉防災協会

防災協会は、次の会員で構成され、地域の防火防災の普及に尽力しています。

市町村 部 会	朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	大 刀 洗 町	筑 紫 野 市	合 計
給油所関係	11		4			15
一般施設関係	144	5	50		1	200
自動車整備関係	51	1	21	1		74
自動車車体整備関係	6		4	1		11
燃料LPGガス関係	22	3	5			30
合 計	234	9	84	2	1	330

筑後地区消防設備士会朝倉部会

消防設備士制度の発展を図るため、次の会員で構成されています。

会員種類	特別会員	個人会員	賛助会員	合計
会員数	23	3	8	34

外郭団体の活動

幼年消防クラブ ▶

火災予防運動期間中に大型店舗にて
火災予防をPRしました。



◀ 朝倉市少年消防クラブ

朝倉市少年消防クラブ活動の一環で、防
火標識を作成し、新たに設置しました。



◀ 甘木・朝倉防災協会

筑後地区防災協会長会議(大刀洗平和記念館)

筑後地区消防設備士会朝倉部会 ▶ 研修視察風景



警 防 編

車両の配置状況	3 8
消防水利の状況	3 8
消防機材の配置状況	3 9
火災の概要	4 0
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	4 1 ~ 4 2
原因別の出火件数	4 3
火災件数10年の推移	4 3
救急の概要	4 4
市町村別の救急状況	4 5
月別、時間別の出場件数	4 6
年齢別、程度別、月別の搬送状況	4 7
程度別の搬送状況	4 8
救急出場件数10年の推移	4 8
応急手当の普及啓発活動状況	4 9
救命スタッフのいる事業所認定制度	4 9
救助の概要	5 0
月別、市町村別の出動件数	5 0
事故種別、発生場所別の出動件数	5 1
事故種別比較表	5 1
事故種別、出動人員、活動人員	5 2
救助出動件数10年の推移	5 2
通信指令系統図	5 3
119番着信状況	5 4
医療機関案内状況	5 4

用語の定義

建物火災焼損程度

全 燃 …… 建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

半 燃 …… 建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全燃に該当しないものをいう。

部 分 燃 …… 建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでばやに該当しないものをいう。

ぼ や …… 建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損傷額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

自然災害 …… 暴風、豪雨、高潮、地震等の異常な自然現象に起因する事故をいう。

水難事故 …… 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は单一事故、若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

労働災害 …… 各種工場、事業所、作業場等で就業中発生した事故をいう。

運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故をいう。

一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。

加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。

急 病 …… 疾病によるもので、救急業務として行ったものをいう。

そ の 他 …… 転院搬送、医師・資器材等の搬送及びその他上記に分類不能のものをいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消防本部	消防署					合計
			本署	東部分署	西部分署	朝倉出張所	東出張所	
指揮車			1					1
水そう付ポンプ車			1	1	1	1	1	5
ポンプ車			1		1			2
化学生車			1					1
はしご車			1					1
救助工作車			1					1
司令車			1	1	1	1	1	5
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			1					1
防火広報車		1						1
人員輸送車		1						1
その他の車両		3	1					4
合計		5	11	3	4	3	3	29

消防水利の状況

種別 市町村	消火栓	防火水そう		井戸		プール 20t以上	合計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上		
朝倉市 (旧甘木市)	436	196	32	74	10	13	761
朝倉市 (旧杷木町)	153	63	7		2	5	230
朝倉市 (旧朝倉町)		93	7	18	2	1	121
東峰村	11	53	4			3	71
筑前町	352	273	24	1	1	8	659
合計	952	678	74	93	15	30	1,842

消防機材の配置状況

種 別	配 置 先	本 署	東 部 分 署	西 部 分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	合 計
消 防 用 資 器 材	力 ギ 付 は し ご	3	1	1			5
	三 連 は し ご	2	1	1			4
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1					1
	救 命 索 発 射 銃	1					1
	可 搬 式 ウ イ ン チ	2					2
	マンホール救助器具	1					1
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	1					1
	大 型 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1					1
	エ ネ ジ ン カ ッ タ ー	3	1	1	1	1	7
	ガ ス 溶 断 器	1					1
	チ エ ー ン ソ ー	6	2	3	2	2	15
	大 型 油 圧 切 断 機	1					1
	万 能 斧	4	2	2	1	1	10
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	1	1	1	1	1	5
	空 気 呼 吸 器	28	4	7	4	4	47
	酸 素 呼 吸 器	5					5
	潜 水 器 具 一 式	6					6
	救 命 ボ ー ト	3					3
	船 外 機	3					3
救 急 資 器 材	投 光 器 一 式	5	1	2	1	1	10
	緩 降 器	3	1	1	1		6
	化 学 防 護 服	4					4
	充 電 式 油 圧 救 助 器 具	2	1	1	1	1	6
	工 ア ー テ ン ト	2					2
	気 道 確 保 資 器 材 一 式	3	1	1	1	1	7
	自 動 体 外 式 除 細 動 器	4	2	2	2	2	12
	シ ョ ッ ク パ ン ツ	2	1	1	1	1	6
	輸 液 用 資 器 材 一 式	2	1	1	1	1	6
	患 者 監 視 装 置	2	1	1	1	1	6

火災の概要

平成27年中の出火件数は28件で、前年より14件の減少となり、これは、月平均2.3件、13日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると、建物火災19件(67.8%)、車両火災4件(14.3%)、その他火災4件(14.3%)、林野火災1件(3.6%)となっています。

損害額は110,963千円で、前年より163,863千円の減少となりました。また、火災により27世帯61人がり災し、死者1名、負傷者6名が発生しています。

項目		単位	平成27年	平成26年	比較(▲減)
火災発生件数	件		28	42	▲ 14
内訳	建物火災	件	19	20	▲ 1
	林野火災	件	1	4	▲ 3
	車両火災	件	4	7	▲ 3
	その他火災	件	4	11	▲ 7
総損害額	千円		110,963	274,826	▲ 163,863
内訳	建物損害額	千円	108,976	272,905	▲ 163,929
	(内収容物損害額)	千円	38,230	160,945	▲ 122,715
	林野損害額	千円	929	201	728
	車両損害額	千円	394	1,034	▲ 640
	その他損害額	千円	664	686	▲ 22
建物焼損床面積	m ²		1,245	1,791	▲ 546
建物焼損表面積	m ²		18	46	▲ 28
林野焼損面積	a		77	17	60
焼損棟数	棟		32	26	6
り災世帯数	世帯		27	18	9
り災人員	人		61	35	26
死者数	人		1	2	▲ 1
負傷者数	人		6	4	2
一月平均火災件数	件		2.3	3.5	▲ 1.2
出火率	件		3.2	4.8	▲ 1.6
管内人口	人		87,275	88,099	▲ 824

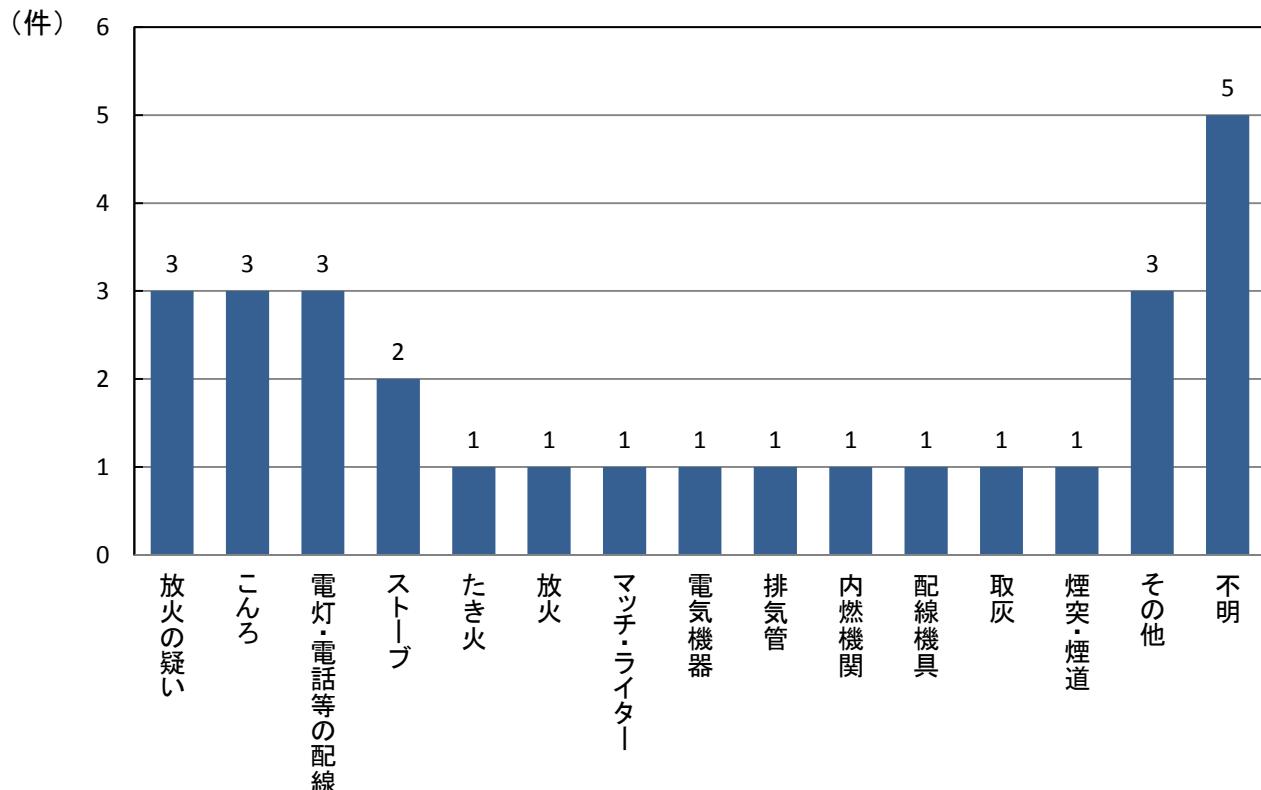
(注) 出火率は人口1万人当たりの出火件数(人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口)

市町村別の火災状況及び月別の火災件数

項目 市町村 年 月別	出 火 件 数					損 害 額 合 計 (千円)	建 物 の 損 害				
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 損 害 額 (千円)	(内 収 容 物 損 害 額) (千円)	焼 損 床 面 積 (m ²)	焼 損 表 面 積 (m ²)	
朝 倉 市	26	30	13	1	6	10	72,075	70,493	21,284	1,382	46
	27	13	10		2	1	49,318	48,440	3,525	955	8
東 峰 村	26	2		2			36				
	27	6	3	1	1	1	47,665	46,581	20,843	288	10
筑 前 町	26	10	7	1	1	1	202,715	202,412	139,661	409	
	27	9	6		1	2	13,980	13,955	13,862	2	
合 計	26	42	20	4	7	11	274,826	272,905	160,945	1,791	46
	27	28	19	1	4	4	110,963	108,976	38,230	1,245	18
1 月		2	2				80	80	18		
2 月		5	3		2		52,602	52,571	21,245	486	
3 月		4	2	1	1		5,365	4,281	228	158	12
4 月											
5 月											
6 月		2	1			1	6	6	6		
7 月		4	3		1		369	156	106	2	
8 月		5	4			1	9,157	9,124	1,702	328	4
9 月		2	1			1	703	77			2
10 月		1	1				3,141	3,141	14	82	
11 月		2	1			1	25,763	25,763	1,134	189	
12 月		1	1				13,777	13,777	13,777		
合 計		28	19	1	4	4	110,963	108,976	38,230	1,245	18

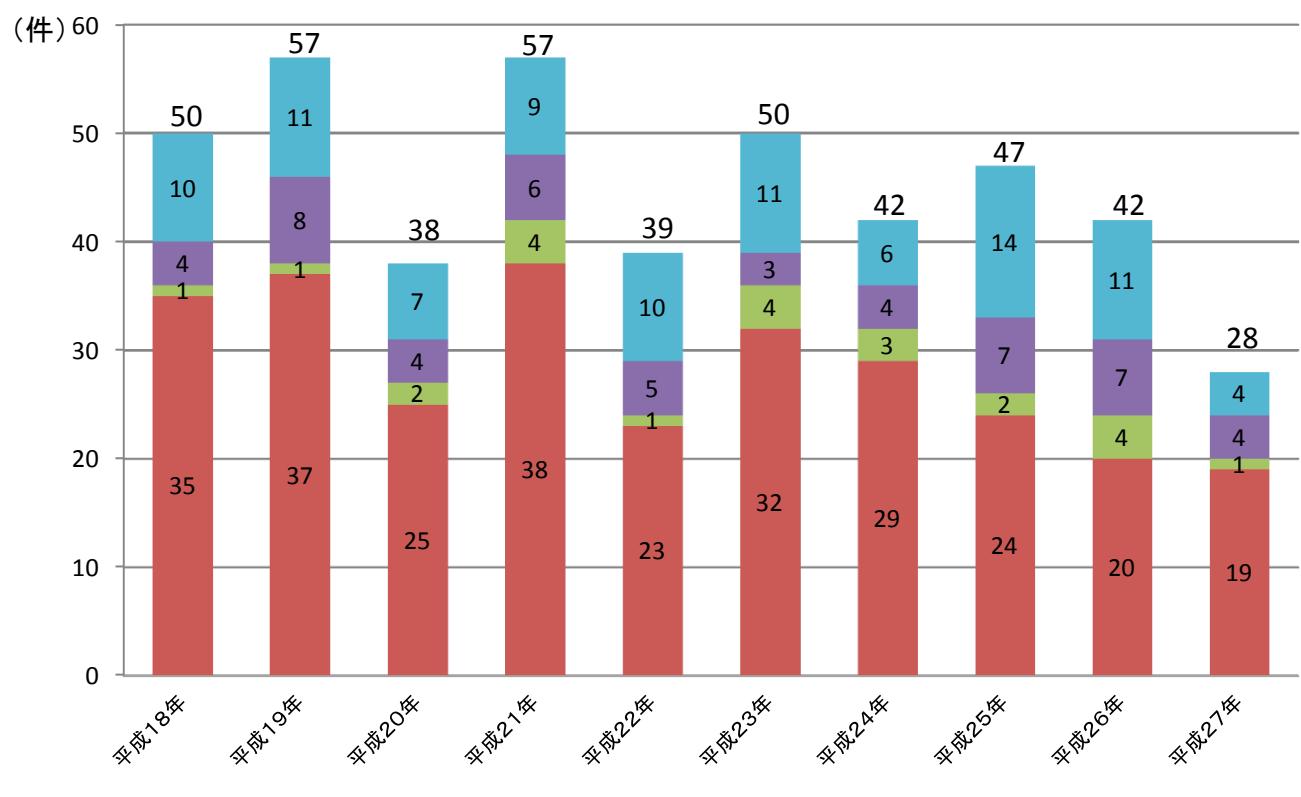
林野の損害		車両の損害		その他の損害		焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者	
損害額	焼損面積 (千円)	損害額	焼損台数	損害額		合計	全焼	半焼	部焼	ぼや	合計	全損	半損	小損		死者	負傷者
165	4	1,004	6	413		18	6		7	5	14	5		9	26	2	4
		214	5	664		20	5	1	7	7	22	15		7	41	1	6
36	3																
929	77	155	1			6	3		2	1	1	1			6		
	10	30	4	273		8	2		2	4	4			4	9		
		25	1			6			1	5	4			4	14		
201	17	1,034	10	686		26	8	0	9	9	18	5	0	13	35	2	4
929	77	394	7	664		32	8	1	10	13	27	16		11	61	1	6
						2				2	1			1	4		
		31	2			3	2		1		1	1			6		
929	77	155	1			6	3		2	1	2	1		1	2		2
						1			1	1				1	5		
		130	1	83		4			1	3	3			3	11	1	
		33	2			9	1	1	4	3	14	9		5	27		3
		45	1	581		2			1	1						1	1
						2	1		1		1	1			5		
929	77	394	7	664		32	8	1	10	13	27	16		11	61	1	6

原因別の出火件数



火災件数10年の推移

■ 建物 ■ 林野 ■ 車両 ■ その他



救急の概要

平成27年中の救急出場件数は3,774件で、前年に比べて157件の減少となりました。これは1日平均10.3件（前年10.8件）で約140分に1件の割合で出場し、管内住民の約24人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとに見ると、急病2,144件（56.8%）、一般負傷603件（16.0%）、転院搬送465件（12.3%）、交通事故402件（10.7%）、その他160件（4.2%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無いため、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項目		平成27年	平成26年	比較（▲減）
出 場 件 数		3,774	3,931	▲ 157
搬 送 件 数		3,566	3,663	▲ 97
不 搬 送 件 数		208	266	▲ 58
出 場 件 数 の 内 訳	火 災	6	4	2
	自 然 灾 害			
	水 難			
	交 通 事 故	402	375	27
	労 働 灾 害	83	99	▲ 16
	運 動 競 技	24	20	4
	一 般 負 傷	603	570	33
	加 害	9	9	
	自 損 行 為	32	38	▲ 6
	急 病	2,144	2,237	▲ 93
そ の 他	転 院 搬 送	465	569	▲ 104
	医 師 搬 送			
	資 器 材 搬 送			
	そ の 他	6	10	▲ 4
搬 送 人 員		3,611	3,715	▲ 104
傷 病 程 度	死 亡	65	69	▲ 4
	重 症	565	574	▲ 9
	中 等 症	1,783	1,834	▲ 51
	輕 症	1,197	1,237	▲ 40
	そ の 他	1	1	
1 日 平 均 出 場 件 数		10.3	10.8	▲ 0.5
1 隊 平 均 出 場 件 数		755	786	▲ 31
救 急 車 利 用 率	管内住民約24人に1人	管内住民約24人に1人		
管 内 人 口	87,275	88,099	▲ 824	

(注) 人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項目		朝倉市	東峰村	筑前町	管外	合計
出 場 件 数		2,565	131	1,071	7	3,774
搬 送 件 数		2,426	117	1,016	7	3,566
搬 送 人 員		2,456	121	1,026	8	3,611
出 場 件 数 の 内 訳	火 災	6				6
	自 然 災 害					
	水 難					
	交 通 事 故	264	17	115	6	402
	労 働 災 害	59	2	22		83
	運 動 競 技	16	1	7		24
	一 般 負 傷	395	16	192		603
	加 害	7		2		9
	自 損 行 為	22	2	8		32
	急 病	1,402	92	649	1	2,144
傷 病 程 度	転 院 搬 送	389		76		465
	医 師 搬 送					
	資 器 材 搬 送					
	そ の 他	5	1			6
	死 亡	41	6	17	1	65
重 症		419	25	121		565
中 等 症		1,231	50	500	2	1,783
輕 症		764	40	388	5	1,197
そ の 他		1				1
1 日 平 均 出 場 件 数		7.0	0.4	2.9	0.02	10.3
各 市 町 村 人 口		55,318	2,302	29,655		87,275

(注) 人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

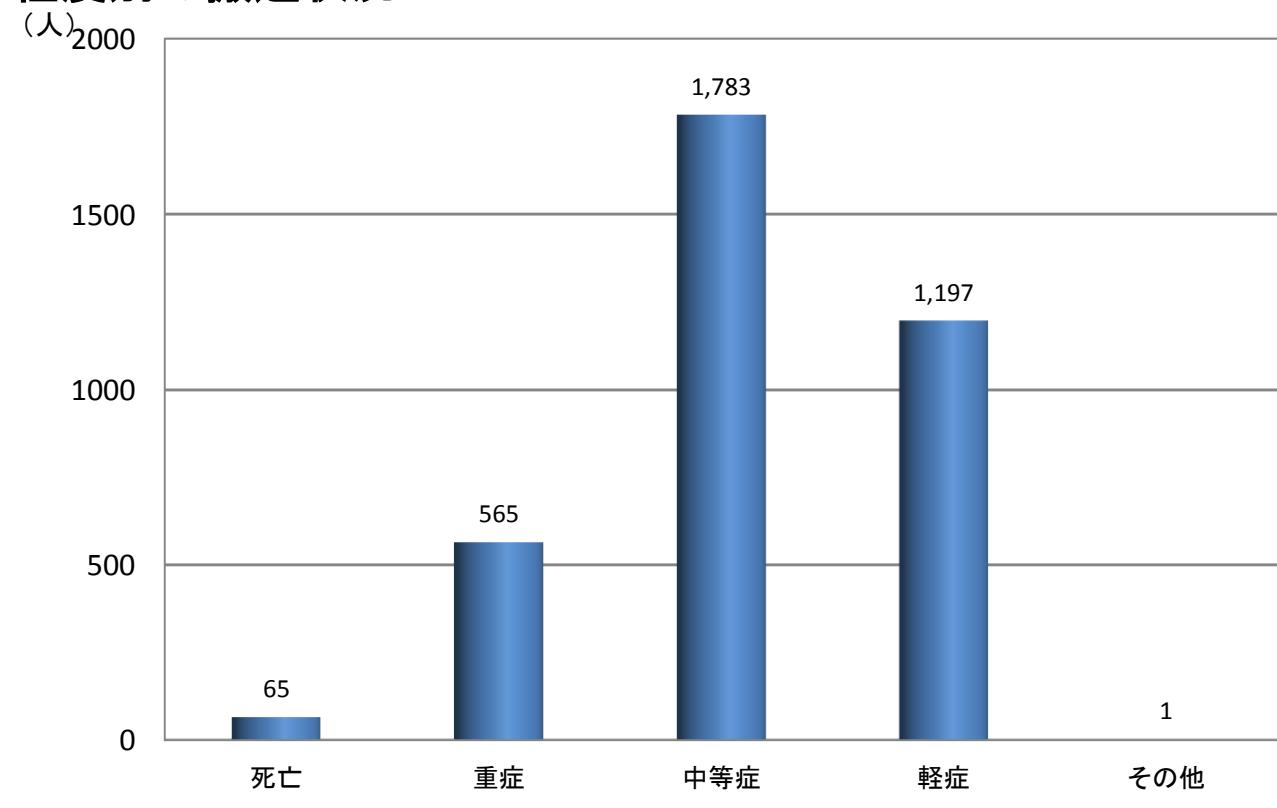
月別、時間別の出場件数

種別 月 時間帯	合 計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	その他の			
		然 災	然 災	水 難	通 事	働 害	動 競	般 負	加 傷	自 損 行 為	病	院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	362				24	5	1	54		9	220	48			1
2月	285				33	2		49	2	2	155	41			1
3月	361	2			34	7	1	56		3	209	48			1
4月	286				30	8		38		1	173	36			
5月	307				45	9	2	41	2	3	169	35			1
6月	267				25	8		43		1	155	34			1
7月	332	1			30	12	5	58		2	194	30			
8月	341	2			32	12	3	61		1	197	33			
9月	289				33	4	6	49	1	5	154	37			
10月	284	1			36	5	4	47	2	3	140	46			
11月	316				42	7	1	53	2	2	168	41			
12月	344				38	4	1	54			210	36			1
合 計	3,774	6			402	83	24	603	9	32	2,144	465			6
0~ 2	141				7	2		18		1	106	6			1
2~ 4	125				6	2		8	1	1	101	6			
4~ 6	124				7			11			97	9			
6~ 8	234	3			43	5		36		2	139	6			
8~10	466				46	11	2	93		2	241	71			
10~12	474				50	19	4	79		3	227	92			
12~14	463	1			44	15	9	64	3	4	246	77			
14~16	411				44	15	2	78		7	196	69			
16~18	401				75	12	1	64	4	5	191	47			2
18~20	383				42	1	2	63		4	228	41			2
20~22	327	2			25	1	3	60		1	209	26			
22~24	225				13		1	29	1	2	163	15			1

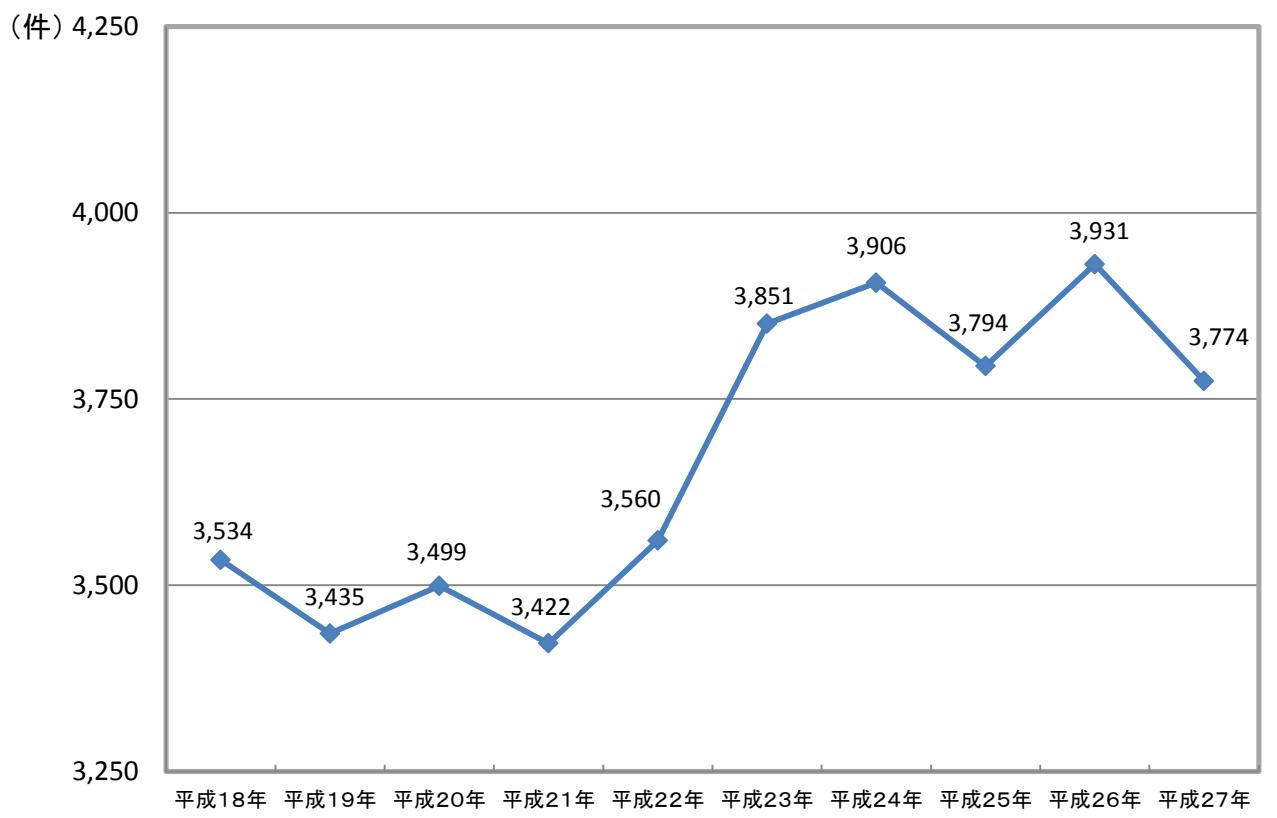
年齢別、程度別、月別の搬送状況

種別 項目	合計	火災	自然灾害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
		院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他										
搬送人員	3,611	5			403	80	24	574	9	24	2,025	463			4
年齢別	新生児	2									1				1
	乳幼児	174			17			44			102	11			
	少年	131			34	1	12	24		1	46	13			
	成人	1,073	4		225	68	11	94	8	20	527	113			3
	高齢者	2,231	1		127	11	1	412	1	3	1,349	326			
程度別	死 亡	65			5	1		11		4	43	1			
	重 症	565			30	9	2	112		2	268	142			
	中等症	1,783	1		125	35	8	237	1	16	1,069	288			3
	軽 症	1,197	4		242	35	14	214	8	2	645	32			1
	その 他	1			1										
月別	1月	342			23	5	1	50		7	208	48			
	2月	262			29	2		47	2	1	141	40			
	3月	345	2		35	7	1	48		2	200	48			2
	4月	274			28	7		36			167	36			
	5月	298			44	9	2	40	2	3	163	34			1
	6月	256			25	8		42		1	145	34			1
	7月	322			32	11	5	56		1	187	30			
	8月	336	2		38	11	3	61		1	187	33			
	9月	281			33	4	6	48	1	4	148	37			
	10月	271	1		37	5	4	47	2	2	127	46			
	11月	300			41	7	1	50	2	2	156	41			
	12月	324			38	4	1	49			196	36			

程度別の搬送状況



救急出場件数10年の推移



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	救命講習			
	講習回数	新規受講者数	再受講習者数	合計
平成13年	22	321	54	375
平成14年	52	732	85	817
平成15年	82	1,837	194	2,031
平成16年	112	2,296	356	2,652
平成17年	74	1,280	275	1,555
平成18年	83	1,560	249	1,809
平成19年	70	1,132	201	1,333
平成20年	59	1,138	268	1,406
平成21年	33	692	104	796
平成22年	41	791	106	897
平成23年	45	882	115	997
平成24年	42	1,047	112	1,159
平成25年	39	987	65	1,052
平成26年	42	963	133	1,096
平成27年	38	812	52	864
合計	834	16,470	2,369	18,839

※ 過去15年間の新規受講者総数は16,470人で管内住民の約5人に1人が救命講習を受講したことになります。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては、応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より、救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

朝倉市	東峰村	筑前町	合計(事業所)
78	13	14	105

平成17年度から平成27年度までに各事業所の協力を得て105事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救 助 の 概 要

平成27年中の救助出動件数は54件で、前年より15件の増加となり、事故種別ごとにみると、交通事故39件、水難事故2件、機械による事故2件、ガス及び酸欠事故2件、建物等による事故1件、その他の事故8件となっています。これらの事故で延べ571名の隊員が出動し、24人を救助しました。

事故種別 項目	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に 故	建 物 等 に 故	ガ 斯 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ し の 他 の 故	合 計	前 年
	建 物	建 物 以 外												
出 動 件 数			39	2			2	1	2			8	54	39
出 動 人 員			440	15			15	4	18			79	571	906
救 助 人 員			13	2			1	1	1			6	24	21
出 動 車 両 台 数			148	5			5	1	6			24	189	203

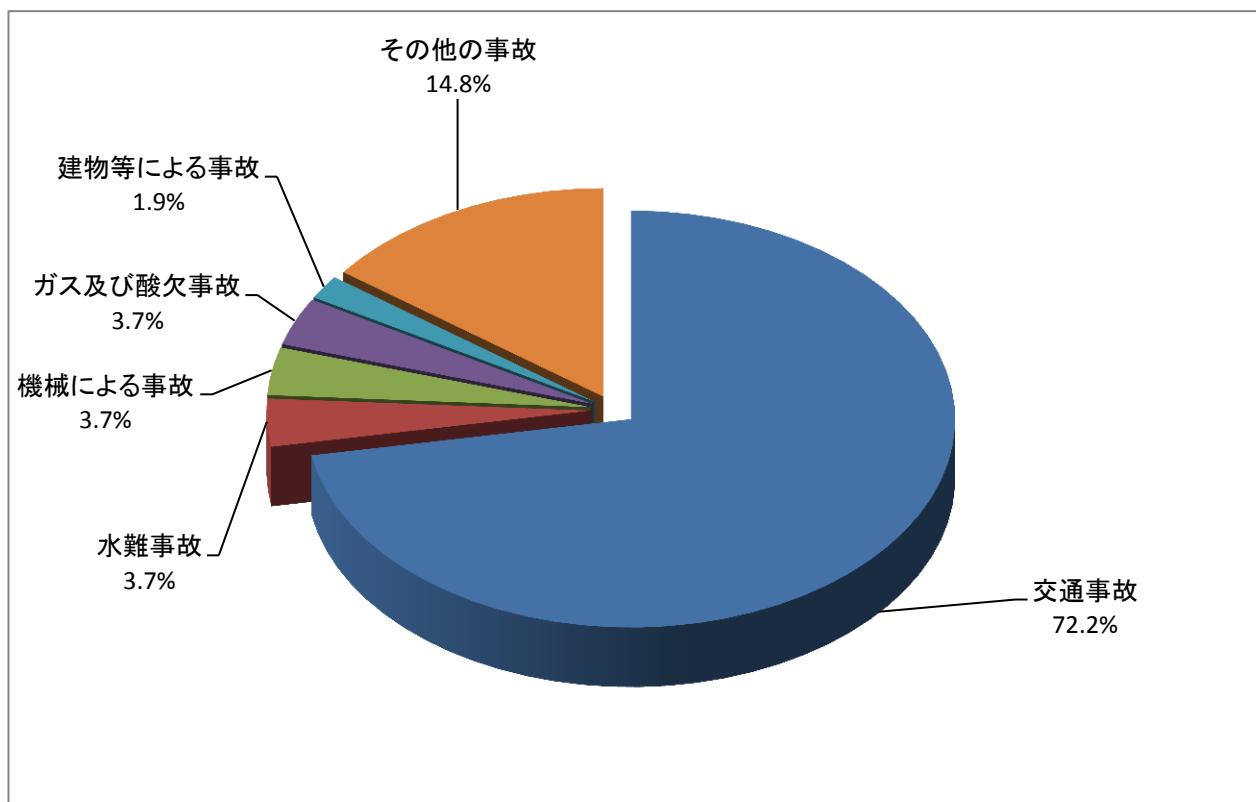
月別、市町村別の出動件数

事故種別 月 別 市町村別	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に 故	建 物 等 に 故	ガ 斯 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ し の 他 の 故	合 計	前 年
	建 物	建 物 以 外												
1月			3	1			1					1	6	2
2月			1									1	2	5
3月								1					1	4
4月			5									1	6	3
5月			7									1	8	2
6月			4				1						5	4
7月			2	1					1			1	5	3
8月			6									1	7	3
9月			4							1			5	6
10月			1										1	2
11月			3									2	5	2
12月			3										3	3
合 计			39	2			2	1	2			8	54	39
朝 倉 市			28	1			2	1	2			6	40	27
東 峰 村			1									1	2	1
筑 前 町			6	1								1	8	11
管 外			4										4	0

事故種別、発生場所別の出動件数

事故種別 発生場所		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 然 災 害	機 械 よ る 事 に 故	建 よ る 物 等 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居							1	1		1	3
	その他の屋内										1	1
屋 外	道 路	高速自動車道			12							12
		その他の道路			23		1					24
	水 面	内 水 面			2	2	1					5
		外 水 面										
	山 岳										3	3
その他の屋外					1					1	3	5
地 下												
そ の 他					1							1
合 計				39	2		2	1	2		8	54

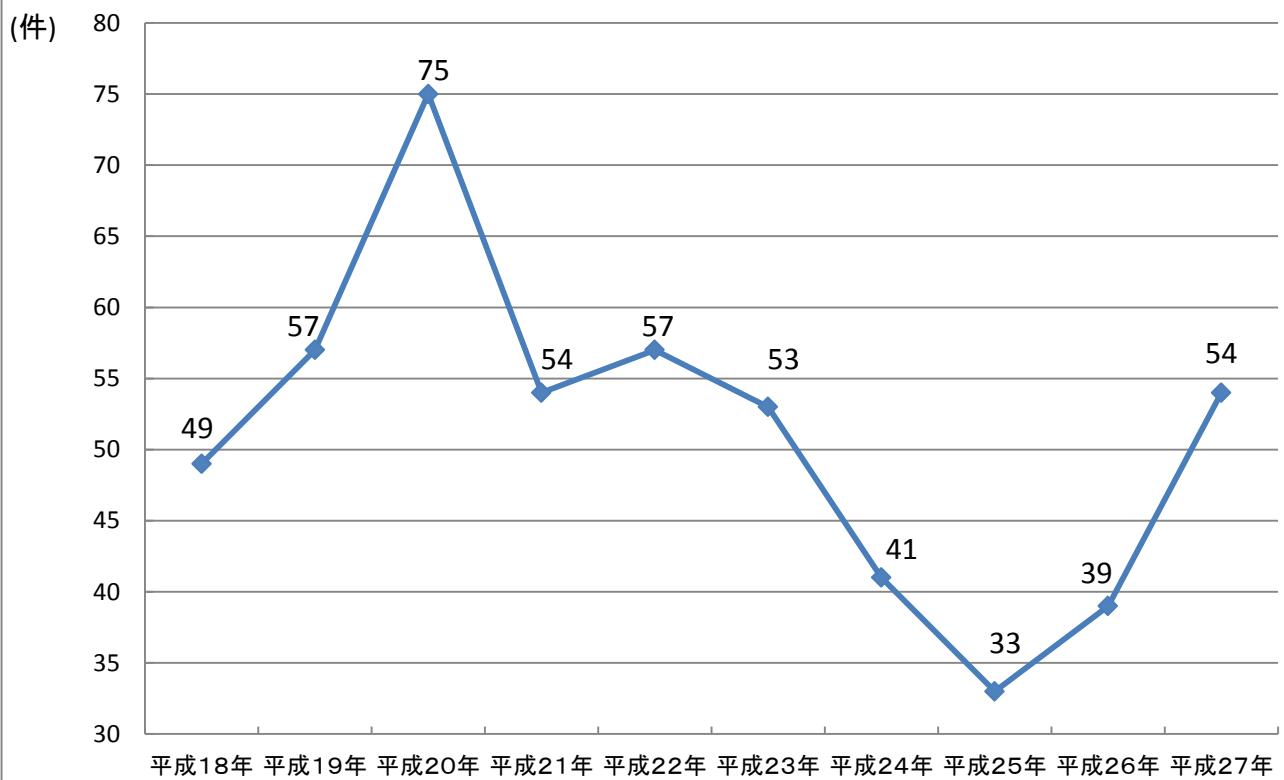
事故種別比較表



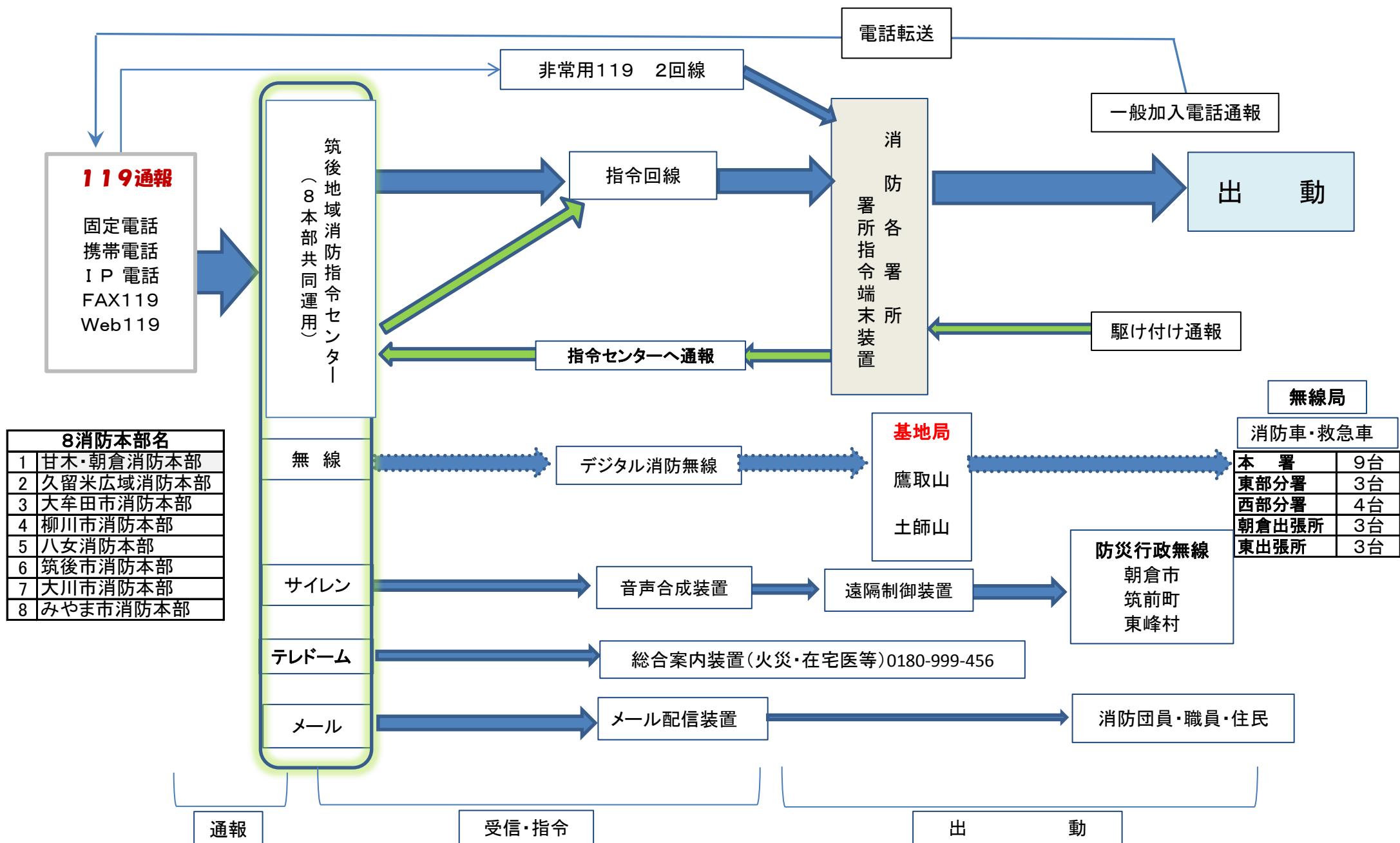
事故種別、出動人員、活動人員

項目	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 然 害 災	機 よ る 械 事 に 故	建 よ 物 等 事 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ し の 他 の 事 故	合 計
	建 物	建 物 以 外									
出動人員	救 助 隊 員			155	8		8	4	7	38	220
	消 防 隊 員			96	1		1		4	11	113
	救 急 隊 員			189	6		6		7	30	238
	消 防 団 員										
	合 計			440	15		15	4	18	79	571
活動人員	救 助 隊 員			39	8		4	4	3	26	84
	消 防 隊 員			16	1		1		4	11	33
	救 急 隊 員			43	3		3		4	18	71
	消 防 团 員										
	合 計			98	12		8	4	11	55	188

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災	2	5	4			2	4	5	2	1	2	1	28
救 急 救 助	368	287	362	292	315	272	337	348	294	284	320	347	3,826
そ の 他 災 害	46	35	62	41	37	19	49	54	30	46	43	33	495
問合わせ 訓 練 誤 報 等	17	23	40	31	28	22	25	18	23	29	57	36	349
合 計	433	350	468	364	380	315	415	425	349	360	422	417	4,698

医療機関案内状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
内 科	27	7	2	9	11	7	7	6	7	6	12	7	108
外 科	8	7	7	4	7	4	11	10	11	6	9	4	88
小 児 科	9	2	3	1	5	1	0	8	2	4	0	2	37
特 殊 科	6	5	4	5	3	2	4	9	9	1	3	7	58
合 計	50	21	16	19	26	14	22	33	29	17	24	20	291

消防団編

消防団員数	5 5
車両台数	5 5
年齢別団員数	5 6
在職年数別団員数	5 6

消防団員数

区分	市町村 朝倉市	東 峰 村	筑 前 町	合 計
定 員	979	172	323	1,474
団 長	1	1	1	3
副 団 長	5	1	1	7
分 団 長	22	4	7	33
副 分 団 長	56	4	7	67
部 長	68 (1)	4	38	110 (1)
班 長	121 (2)	12	57 (1)	190 (3)
団 員	590 (14)	131	166 (9)	887 (23)
合 計	863 (17)	157 (0)	277 (10)	1,297 (27)

※ 朝倉市(司令長は副団長・副司令長は分団長・司令は副分団長に含む)

※ ()は女性団員数

車両台数

区分	市町村 朝倉市	東 峰 村	筑 前 町	合 計
水 そ う 付 ポ ン プ 車	2			2
ポ ン プ 車	20	2	7	29
小 型 ポ ン プ 積 載 車	7	10	4	21
小 型 ポ ン プ	27		8	35
指 令 車	5	1	2	8
赤 バ イ ク	1			1
合 計	62	13	21	96

年齢別団員数

年 齢	市 町 村	朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	合 計
20才未満		5	1	3	9
20才以上～25才未満		70	15	30	115
25才以上～30才未満		273	15	78	366
30才以上～35才未満		326	24	134	484
35才以上～40才未満		68	35	21	124
40才以上～45才未満		41	25	7	73
45才以上～50才未満		23	9	2	34
50才以上～55才未満		16	7	1	24
55才以上		41	26	1	68
合 計		863	157	277	1,297
平 均 年 齢		32.6	39.6	30.3	33.0

在職年数別団員数

年 数	市 町 村	朝 倉 市	東 峰 村	筑 前 町	合 計
5年未満		451	47	144	642
5年以上～10年未満		234	32	96	362
10年以上～15年未満		95	22	37	154
15年以上～20年未満		41	25		66
20年以上～25年未満		19	28		47
25年以上		23	3		26
合 計		863	157	277	1,297

火災・救急・救助は119

甘木・朝倉消防本部 〒838-0065 朝倉市一木18番地20
代 表 TEL 0946(22)0119
総務課 TEL 0946(23)2751
予防課 TEL 0946(23)2752
警防課 TEL 0946(23)2753
[URL]<http://www.amagi-asakura.jp/fire-department/news.php>
[E-mail]aafdf119@city.asakura.lg.jp

甘木・朝倉消防署 〒838-0065 朝倉市一木18番地20
TEL 0946(22)0119
警備課 TEL 0946(23)2754
[E-mail]aafdf-honsho@city.asakura.lg.jp

東部分署 〒838-1512 朝倉市杷木寒水92番地1
TEL 0946(63)3111
[E-mail]aafdf-toubu@city.asakura.lg.jp

西部分署 〒838-0211 朝倉郡筑前町下高場3599番地3
TEL 0946(42)4711
[E-mail]aafdf-seibu@city.asakura.lg.jp

朝倉出張所 〒838-1302 朝倉市宮野2142番地2
TEL 0946(52)2922
[E-mail]aafdf-asakura@city.asakura.lg.jp

東出張所 〒838-1602 朝倉郡東峰村大字小石原鼓837番地11
TEL 0946(74)2063
[E-mail]aafdf-higasi@city.asakura.lg.jp

筑後地域消防指令センター 〒839-0815 久留米市山川沓形町3番15号
TEL 0942(41)0411
[E-mail]ksyoutsu@kouiki.kurume.fukuoka.jp

テレドーム(火災、在宅当番医等案内) TEL 0180-999-456



消防年報

平成28年 7月

編集・発行 甘木・朝倉消防本部

〒838-0065

福岡県朝倉市一木18番地20

TEL 0946(22)0119